

# 人文会 NEWS

2015.8

no.

# 121

代表幹事挨拶

田崎洋幸 1

—書店現場から—

退職して

杉本 博 2

—図書館レポート—

カリキュラムのキーワードを利用した分野別選書基準について

—亜細亜大学図書館の試み—  
大石美佐子 6

—編集者が語るこの叢書・このシリーズ⑥—  
お金に困っている友だちに16万円を貸すかどうかについて……………  
渡邊 光 23

2015年特約店グループ訪問報告

委員会活動方針

人文会活動報告

人文会年次総会報告

## その〈脳科学〉にご用心

脳画像で心はわかるのか

サリー・サテル、スコット・O.リリエンフェルド

脳科学リテラシーを身につける

「買わずにいられない脳」「嘘をつく脳」  
…ビジネスや裁判における濫用と、  
脳科学万能主義に警鐘を鳴らす。

柴田裕之 訳 ◆2000円+税

## 巨大化する 現代アートビジネス

ダニエル・グラネ、カトリヌ・ラムール

作品一点が60億円!?

現代アートが投機・投資対象となった  
ゼロ年代以降のアートの現場を徹底取  
材。市場を牛耳る100人とは?

鳥取絹子 訳 宮津大輔 解説 ◆2100円+税

紀伊國屋書店

出版部:東京都目黒区下目黒 3-7-10

営業TEL03(6910)0519

<http://www.kinokuniya.co.jp/>

市井の人びとの肉声で語られた  
“あの戦争”の実態

## 証言記録 市民たちの戦争

①銃後の動員

NHK「戦争証言」プロジェクト 編  
吉田裕・一ノ瀬俊也・佐々木啓 監修

銃後の体験を記録し、多くの反響を  
呼んだNHKのシリーズ「市民たち  
の戦争」。150人以上の貴重な証言  
を未放送の部分も含めて書籍化。

[続刊]②本土に及ぶ戦禍 ③帝国日  
本の崩壊 46判・2600円

東京文京 大月書店 電話03-  
本郷2-11 3813-4651  
[www.otsukishoten.co.jp](http://www.otsukishoten.co.jp) 税別価格

慶應義塾大学出版会

<http://www.keio-up.co.jp/>

## アウトテイクス

—小熊英二論文集

小熊英二 著 岡倉天心、新渡戸稲造、  
矢内原忠雄、柳田国男、丸山眞男、大  
江健三郎、小田実——。日本思想史を  
彩る思想家の核心に迫り、近代日本社  
会の集会的な意識のありようを浮き彫り  
にする。 ◎2,600円

## 被爆者は なぜ待てないか

—核/原子力の戦後史

奥田博子 著 被爆者とは誰か。被爆者は  
何を待つのか。なぜ待てないのか。広島・  
長崎の惨禍を知る日本は、なぜ世界第三  
位の原発大国となり、福島第一原発事故  
を引き起こしたのか。 ◎2,700円

〒108-8346 東京都港区三田2-19-30 【価格税抜】  
Tel 03-3451-3584 Fax 03-3451-3122

静的弛緩誘導法研究会監修  
中村敬子・他著  
障害の重い子ども  
のころとからだを育てる  
排泄教育  
お世話から教育へ。「排泄教育」は健康で自分を守る  
力と豊かな人間関係を育てます。

本体1600円+税

御茶の水書房

〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 TEL 03-5684-0751  
<http://www.ochanomizushobo.co.jp/>

## 代表幹事挨拶

みずず書房 田崎洋幸

2015年5月22日に行われた人文会年次総会において、代表幹事に再任されました。書記幹事の新保卓夫氏(誠信書房)、会計幹事の平石修氏(御茶の水書房)も再任となりました。委員会構成も変更はなく、〈販売・企画〉・〈調査・研修〉・〈広報〉の三委員会制を継続することになりました。

白水社の岩野忠昭氏が〈広報〉委員会委員長として新任され、引き続き重責を担うこととなった、〈販売・企画〉委員会委員長の片桐幹夫氏(春秋社)、〈調査・研修〉委員会委員長の橋元博樹氏(東京大学出版会)と共に、幹事として1年間活動して頂くことになりました。

また、〈販売・企画〉委員会副委員長に朝倉哲哉氏(法政大学出版局)、〈調査・研修〉委員会副委員長に片山伸治氏(吉川弘文館)、〈広報〉委員会副委員長に乙子智氏(慶應義塾大学出版会)の三氏が就任しました。今後1年間、この体制で邁進する所存です。なお柏書房は引き続き休会となりました。

出版業界の低迷が続いています。このことは現実として受けとめなければなりません。個々の会員の出版活動はもちろん、人文会としての活動もパワーアップすることで出版業界に貢献したいと考えています。意見交換の場も数多く設けたいと考えておりますので、その節には、忌憚のないご意見を多数頂戴できればと思います。

人文書を購入される読者は決して減少していません。人文書を一人でも多くの読者に届けて頂けますよう、引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

## 退職して

杉本博（元戸田書店）

一日一日がこんなにも短く感じられるとは……戸田書店を退職して約三ヶ月、日々、時間を持って余すものとはばかり思っていました。この意外な感覚に戸惑い、狼狽している自分があります。傍目には無為かつ怠惰な日々を過ごしているとしか見えないのでしょうが、兎も角一日が短い、在職中の一日よりもずっと短く感じてしまうことが不思議でなりません。青春時代の放浪生活と同様、一日をどう使うかはまったく自由であるのに、放浪時代の一日は、毎朝、また新しい一日が始まってしまった、と思う一日でその一日は結構長く、今は毎晩、もうまた一日が終わってしまった、という短さです。読書三昧とときどきバイク、の管がまったく儘なりません。

気がつくとも過去をぼんやり思い出し出していた、ということが少なからずあります。放浪生活、そして書店生活のあれこれです。

放浪生活は約五年、若き故にできた貧乏旅行でした。ダージリンから仰ぎ見たカンチェンジュンガ、ジャルパイグリ（北インド）での蜚の乱舞、パーミアンの驚愕の星空、灼熱の死海、雪のモンセギュール（南フランス・カタリ派終焉の地）……まさに走馬灯のように、です。何していたという訳でもない日々でしたから、五年を経て、もうこれ以上続けても仕方がない、一旦帰ろう、と帰国しましたが、その折一っだけ決めたことがあります。西洋かぶれには絶対ならない、日本万歳にもならない、です。私は、

自分が生まれ育ち今も暮らす藤枝が大好きです。そして勿論、静岡も、日本も。でも日本までで区切りをつけることはしません。多様性を認めること、それは私の放浪生活での数少ない収穫の一つです。

若い頃からこんな事を考え続けておりました。先人の成果をそのまま継承、発展させ、かつ一人の天才が大きく進展させ得る科学技術と、等しく赤ん坊から、つまりゼロから出発し、たかだか百年しか生きられない人間のゆっくりとした意識進化との差に、いつか人間が耐えられなくなる日が来るのではなにか、という妄想です。直線的かつ加速度的に進化し得る科学技術と、スイッチバックを繰り返して漸進する人間、ということであり、その落差の一例が原爆だろうと思います。あんなものを作ってしまった、そして使ってしまったという事実には、科学技術と人間意識との落差を感じてしまいます。そして困ったことに、両者の差は拡大する一方であり、その差は埋め難くなりつつあるように思えてなりません。

両者の橋渡しをするもの、それには様々な方策が考えられるのですが、「想像力」を鍛えることも、その有効な手段となり得ましょう。昨今、想像力の欠如も大きな要因と思える事件、事象が多発しています。簡単に人を殺してしまうことがそうでしょうし、安保法制や普天間―辺野古の問題も、根本に政治家の想像力の欠如があるように思えてなりません。七三年の第四次中東戦争で、イスラエル・キブツ時代のユダヤ人四人四名が戦死しました。私の年になれば、同級生の何人かが病死、事故死、自殺をしておりますが、さすがに同級生に戦死者はおりません。私自身、軍隊は嫌いだけど戦闘機は大好きという矛盾を抱えておりますが、武器は格好良くてもそれが使用される戦争は悲惨そのもので、到底肯定できません。七〇年間に亘り国民に戦死者がいないということは大いに誇るべきです。

「読書」が想像力を育む、そのことは論をまたないと思います。活字の連なりから自分なりのイメージを組み立て、他者への、異世界への理解を深めていくことが出来る——素晴らしいと思います。本の世界は、およそ人間が想像し得ることの全て、人間の誕生前も死後の世界も宇宙の果てもと、何でも

あります。加えて毎年夥しい点数の新作が出て来るのですから、本の選択には或る種の訓練が必要でしょう。多読も訓練の一つでありましようが、個人での読書にはその量に限界があります。私個人は師匠たち、諸先輩、友人たちに導かれての読書でしたし、書店生活に於いては、お客さんに導かれ、育てられました。様々なジャンルをそれぞれ読み込んでおられる方々との店頭での会話は実に楽しく、有意義でした。独りよがりにならないよう、何度も軌道修正させられたものです。読んでいる人にはかいません。

現在の書店現場は、人員削減から個人々人があまりに忙しく、お客さんとの会話も儘なりません。店にとってもお客さんにとっても良いことは無く、何とも寂しい限りです。

私は業界の隆盛時代を経験できましたし、総じて幸せな書店人生だったとつくづく思います。しかし、目の前の仕事にかまけ、多忙を自分への言い訳として、本当に大切なことを疎かにして来たのではないか……そんな思いを拭いきれません。仕入れに専念して二十数年、食いつ持としてベストセラーの確保は当然のことながら、ベストセラーのみならず、もっともっと広い視野を持って仕事をすべきだったと反省することしきりです。

今、読書も体力、と身にしみて感じます。視力の衰え、そして根気の減退です。若い頃、老後の楽しみに、と買い溜めてあった本が読めません。活字の小ささに啞然としますし、情けないことに、ちょっと難しい本を手にとると、すぐ眠くなってしまいます。若い時にもっともっと読んでおけば良かった。それもジャンルを限定せず貪欲に、『Homo sum; humani nihili a me alienum puto』(私は人間である。人間に関わることなら何でも自分に無縁ではない)——テレンティウスの言葉より)です。

若い時には背伸びした読書も必要でしょう。若さには、それを可能にする体力があります。青春期、友人の書棚に白いカバーの本が並んでいるのを見ると、この野郎、と思いつつ私もそれらに挑戦してみたものです(こうしてメルロー＝ポンティに嵌まりました)。

読書は楽しい。若い人たちに、本の魅力をちゃんと伝えてきたのか……悔いが残るところです。

退職は人生の一大イベントです。次なるビッグイベントは、と考えると、もう死ぬことしか思い浮かびません。この日頃の一日一日の経過の速さからすると、その日は存外近いように思えます。これまでに多くの死を見してきましたが、自分も例外ではないという至極当然の事が、何とも不思議な感覚で迫ってきます。勿論、怖くもありませんが、その時を意識明晰なまま迎えられるとして、その瞬間、何を思うかが楽しみ、と強がっておきましょう。「地上とは思いつ出ならずや」（稲垣足穂）。来るべきその日を、いっばいの思い出と共に、ああ面白かったと、終えたいものです。

## 付記

小川国夫さんとは四〇年間に亘りお付き合いさせていただき、多大な影響を受けました。「いつか精神史としての自分史を書きなさい」という、氏の晩年に賜った言葉が忘れられません。

ブルースト、ジョイス、ダレルは読んでおきなさい、と言われました。そうして出会ったダレルの次の言葉は、常に励みになりました。

「自分を自分の能力と釣り合わせて達成できる完璧さもある」  
（『アレキサンドリア四重奏4』）

小川国夫さんのみならず、多くの「本物」と出会えたことは、本当に幸せでした。

筆者 近影



杉本博（すぎもと ひろし）

## カリキュラムのキーワードを利用した分野別選書基準について

—— 亜細亜大学図書館の試み

大石 美佐子（亜細亜大学図書館）

### 1 はじめに

それまでの選書状況

確か1996年、当時の上司から、選書委員会（現在の選書会議の前身）を立ち上げるので、選書基準を見直してほしいとの依頼があった。いくつかの大学図書館の選書基準の資料をいただいた記憶がある。

当館の選書はベテランのレファレンス担当者が、長年一人で国会図書館の「日本全国書誌」をチェックし、行っていた。その担当者が他部署に異動となり、何の実績もない委員会で選書することに、私はとても戸惑っていた。どのようにすれば、だからとも信頼される適切

な選書ができるのか。上司から基準見直しの依頼を受け、早速、選書委員会のメンバーそれぞれで選書基準の案を考えた。その内容はきわめて抽象的な文言を簡条書きしたようなものだった。果たして、これでよいものか不安は募るばかりだった。

亜細亜大学と図書館の概要、背景

ここで、話を進める前提として、当大学と図書館の概要と背景を述べておく。

亜細亜大学は、1941年に創立した社会科学系の大学で、来年で75周年を迎える。

学部は経営、経済、法学、国際関係、短期大学部（平成27年度募集終了）がある。また、附属機関として、アジ



ア研究所がある。学生数は約7000人。

図書館は一つのみで分館分室はない。規模は蔵書数67万冊、年間入館者数36万人、年間貸出冊数は約4万1000冊である(平成25年度実績)。蔵書はアジア関係、社会科学系NDC(日本十進分類法)300(社会科学)と600(産業)番台中心に、主に学習用図書を対象に収集している。

図書館のシステムはリコーのLIMEDIOを1998年から導入している。その関係で、紀伊國屋書店とのつながりが大きい。アウトソーシングとして、紀伊國屋書店プロセッシングセンターで図書の外部整理を行っている。図書館内部では、紀伊國屋書店の亜細亜大学BIC(Book Information Center)にて、PLATONを利用した発注受入業務、また主に登録不要図書の内部整理、そして、原簿とデータ、現物の照合(蔵書点検)業務を外注している。

人員は、専任職員14名(部課長含む)、社会人アルバイト3名(1日平均)、学生アルバイト20名。図書館内部の外注要員は7名(1日平均)である。

## 2 エピソード——教員からの宿題

先に述べた抽象的な選書基準案を作成し、図書館での選書委員会による選書が始まってからしばらくして、図書館長の諮問機関である「図書館運営委員会」で、ある教員から、選書委員会に対して以下のような質問が出された。

「図書館の選書は一体、何を根拠に選んでいるのだ。選ぶ際に使っているキーワードを教えてください。どんなワードで選んでいるか知りたいので、実際のキーワードをあげてください」と。

私は、まず、この「キーワード」という言葉に引っかかった。

選書基準を示す方法としては、他大学でもどちらかというところと抽象的な文言や文章で表していることが多く、キーワードをあげている大学などきいたこともなかった。私も「キーワード」って何だろうと疑問に思わざるをえなかった。

1999年に先生の質問にお答えするものとして文

書を作成してみた(表1)。おそらく、キーワードが例としてしか記述されていなかったため、先生にも納得していただくことはできず、宿題として残されることになった。

のちに、「キーワード」イコール「カリキュラム」、亜細亜大学の教育内容ということがわかるわけだが、この「キーワード」という具体的な指摘を私が理解し、分野別選書基準として目の目を見るには、さらに5年の歳月がかかることとなる。

とにかく教員から宿題が出され、極めて具体的な「キーワード」という指摘があったことが後述する方法に辿り着いた最大の要因となったことは確かである。

### 3 A L A 文献との出会い

教員から宿題を出されてから、数年後、選書基準について文献を調べていて、A L A (アメリカ図書館協会)の『A L A 蔵書の管理と構成のためのガイドブック』と出会った。

「資料専門員マニュアル作成のガイド」「図書館蔵書評

価のガイド」「蔵書方針書作成のガイド」「情報資料予算配分のガイド」「図書館蔵書見直しのガイド」の5つのガイドが載っている。

初めは内容を理解することができなかった。今でも本当によく理解しているとは言い難い。「蔵書方針書」というものと、「選書基準」との違いすらわからなかった。さらに、この文献には、蔵書を評価するために使用する「評価表(Worksheet)」というものが載っていた。コンスベクタス方式(1)と呼ばれる「評価表」はLC(米国議会図書館)分類を利用しており、他に言語区分とレベル表を組み合わせ、「評価表」を作成していくというものだ。これがなかなか理解できず、使い方も全くわからないでいた。しばらく考えた後に、この「評価表」で蔵書を表現できるのなら、カリキュラムのキーワードをこの表に当てはめれば、カリキュラム通りに選書していることを表現できるのではないかと思いついた。LC分類をNDC分類に替え、言語は日本語、レベル表はこのまま利用し、この文献の意図とは異なっているが、分野別選書基準として作成してみることにした。とりわけ、この「レベル表」(表2)は優れたものである。大学図書館であれば共通

表1 図書館図書選定手順 (1999/12/24)

1 選定資料 (図書資料)

- (1) 基本的に「ウィークリー出版情報」(週1回発行)を基に、読者対象と分類の記載を参考にして、図書館員が選定する。
- (2) 大学出版局(東大、北大、一橋大、名古屋大、九大、早大、慶応大)の出版物で社会科学系図書資料は自動的に選定する。

2 選定区分 (NDC分類)

経営・短大関係	335-336	509	519	670				
情報関係	007	547-582						
経済学関係	330	331-334	337-339	340	350	360	519	600
法学関係	200	300-309	316	319	360	380	390	
教養関係	000-200	370	400	500	700-900			

注：アジア関係資料(アジア地域に関する資料)も上記の区分から選定するが、分野が重複する300-309は国際関係の中で選定する。

3 選定手順

- (1) 「ウィークリー出版情報」をもとに、「2 選定区分(NDC)」の分類にそって選定し、書名にマークする。  
 本のタイトルだけで内容がわからない場合や、著者の略歴、シリーズ物の刊行巻数情報などは、TRC 図書館流通センターの「新刊書籍検索」や各出版社のホームページなどを参照する。
- (2) OPAC 検索の結果も選定するか否かの根拠として、記入しておく。(蔵書構成を見て、前の版・旧版・新装版の受入確認)
- (3) 自分の担当「2 選定区分(NDC)」の中で、他の選定区分で判断したほうがよいと思われる内容の図書があった場合、選定区分(管、管、情、法、教)を記入しておく。
- (4) 選定後は、協力員(4名)へ「ウィークリー出版情報」を廻し、コメント・疑問等あれば直接「ウィークリー出版情報」へ記入しておく。
- (5) 最終的な選定については、現在選書担当者(5名)が集まり毎週相互に確認して行う。

4 選定の留意点

- (1) 選定担当者は、新聞(日経等)の広告を含む新刊案内記事を日常的にチェックし、担当の選定区分(NDC)を中心に選定すべき図書を調べておく。
- (2) 選定担当は予算額を考慮し、選定資料を基に担当区分を選定する。
- (3) 選定にコメント(疑問も含む)があれば記入しておく。
- (4) 継続購入にする場合は、継続図書かどうか PLATON(発注・受入れ管理システム)でチェックし、必要に応じて赤字で継続と記入する。

5 経営学部履修要項からのキーワード例

カリキュラム関係	シラバス関係	地域関係
経営学、経済学、簿記原理、経営管理、会計学、経営組織、経営戦略、財務、労務、原価計算、財務諸表、経営情報、経営史、組織論、ビジネス、マーケティング、広告、流通、消費、税務、監査、ホテル経営、観光経営、保険、マネジメント、証券取引、販売、金融、その他	企業、産業、消費者、ROE、ROI、EPS、公認会計士、株式会社、ビジネスゲーム、資金、利益、業績、投資、資本、生産、顧客、競争力、権限、組織、コミュニケーション、労使、旅行、在庫、設備投資、損益、為替、貸借対照表、小売、商社、貿易、運輸、ホスピタリティ、卸業、環境、ISO、その他	国際、アジア、中国、韓国、インドネシア、アメリカ、グローバル NIES、ASEAN、途上国、その他

\* 図書選定に費やす労力はいへん大きく、今後機械的にキーワード等による選書リスト作成も検討する必要があると感じている。

3a	学習・教育支援 レベル—入門段 階	このレベルの蔵書では、主題分野の基本となる事柄について知識を伝達、蓄積していくにふさわしい資料を用意する。蔵書には適切な形態の広範な基本文献、古典を含む資料、主要な問題についての全てのキージャーナル、二次的な問題についての選ばれた雑誌、影響力のある文献、機械可読データファイルへのアクセス、レファレンス・ツール、主題にふさわしい基本書誌が含まれる。このレベルは <b>学部学生</b> や、ほとんどの公共図書館・専門図書館の利用者の <b>自主的な研究のニーズを支援するものである。修士課程を支援するには十分でない。</b>	一般教育科目、専門科目 2年生レベルまで
3b	学習・教育支援 レベル—上級段 階	このレベルでは、基本となる事柄について知識を伝達、蓄積していくにふさわしい資料を用意する。蔵書にはその分野の主要な問題・二次的な問題についての重要な影響力のある作品と雑誌、過去の重要な資料、二次的な著者による主要な文献のコレクション、研究・方法・評価についてのより深い議論のための文献、機械可読データファイルへのアクセス、主題にふさわしいレファレンス・ツール、基本書誌が含まれる。このレベルは <b>全てのコースの学部学生の勉学、修士課程の勉学計画、公共図書館・専門図書館の利用者の高度な自主的研究のニーズを支援する。</b>	専門科目3 年生レベル 以上
4	研究レベル	学位論文や自立した研究に必要な主要な刊行された原資料で、研究報告、新発見、科学実験結果、その他研究者に有益な情報を含む蔵書。すべての重要なレファレンス資料、広範に選択された専門の単行書、きわめて包括的な雑誌のコレクション、主要な索引、抄録サービスを含むのがよい。関連する外国語文献も含まれる。古い資料は通常歴史研究のために残し、積極的に保存する。このレベルの蔵書は博士論文のための研究や他の独創的な研究を支援するものである。	
5	包括レベル	限定された分野について、図書館が可能な限り努力して収集する蔵書で、すべての適切な言語による、記録された知識のすべての重要な文献（出版物、手稿、その他の形態）を含む。このレベルは蔵書の強調度が「特殊コレクション」を維持するのと同じである。その目的は、なかなか達成できないとしても、包括的な蔵書の構成である。古い資料は積極的に保存に力を入れて、歴史的研究のために残しておく。	

表2 コンспекタス方式レベル表

コード	名称	定義	備考
0	収集しない	この主題のものは収集しない。	
1	最小レベル	ごく基本的な文献以外は収集しない主題領域。常に、系統的に調査して情報を新しくしておく。	
1a	最小レベル—不揃いな収集	ほとんど選択しない。主題別収集もあまり一貫性がない。	
1b	最小レベル—むらのない収集	ほとんど選択しないが、基本的な著者、中心となる作品、さまざまな観点の資料は一通り収集する。	
2	基本情報レベル	ある主題の入門となり、解説をしてくれるとともに、どこでどのような情報が得られるかを教えてくれる資料を選んで集めた蔵書。辞書、百科事典、適切な書誌データベースにアクセスできること、主要な作品の諸版、歴史研究、書誌、ハンドブック、若干の主要な逐次刊行物を含む。常に、体系的に調査して情報を新しくしておくこと。	
2a	基本情報レベル—入門段階	このレベルで大切なことは、入門となり、解説となる資料を用意すること。基本的なレファレンス・ツールと概説書、例えばテキストブック、主題の歴史的展開についての著作、重要な問題・人物についての概説書、主要な若干の逐次刊行物を含む。このレベルは、主題に関する一般的な情報の存在を確認しようとする利用者、あるいは <b>入門的なコースにいる学生</b> に役立つ程度のものである。	
2b	基本情報レベル—上級段階	ここでは、より広い範囲で、より深く主題についての基本的な情報を用意すること。主題への入門・解説に役立つ基本的な概説書、歴史書、レファレンス・ツール、逐次刊行物を幅広く選択しておくこと。このレベルの蔵書は <b>教養課程の学生</b> 、公共図書館・専門図書館の利用者の基本的な情報ニーズに応える。	
3	学習・教育支援レベル	組織的な、しかし研究レベルほどではないレベルで主題に関する知識を伝達し蓄積するのにふさわしい蔵書。この蔵書には適切な形態で広範な基本文献、古典を含む重要な作品、重要な著述家の全集、必ずしも重要とは言えない著述家については若干の作品、代表的な逐次刊行物から選んだもの、機械可読データファイルへのアクセス、レファレンス・ツール、主題にふさわしい基本書誌が含まれる。このレベルでは、蔵書は公共図書館・専門図書館の利用者の自主的な研究とほとんどの学習ニーズ、 <b>学部学生と若干の大学院の教育を支援する</b> に適したものである。組織的に見直して新しい情報を取り入れること、基本的で重要な情報の維持を保証することが大切。	大学のカリキュラムに含まれる主題に適合する。

して利用できる、蔵書の深さを表す内容である。私は、分野別に当てはめたキーワードとレベル表を縦糸と横糸のように組み合わせることにより、カリキュラムのキーワードを整理し、立体的な基準として表現できると思った。

#### 4. 分野別選書基準(表3)の作成作業

2004年、当時の上司にこの考えを説明し、了承が得られたので、初めて分野別選書基準の作成が始まった。

#### 基準作成の手順

目的はカリキュラムに沿った選書をするための基準を作りたいということ。

レベルは学部生まで(最高でも3b)。カリキュラムから選んだキーワードは基本的にNDC1000区分に分類する。

以下、基準の作成作業手順を記述する。

#### ①科目名の分類

最新の講義要項の新生用カリキュラム表に沿って学部ごとに作業を進める。例えば、経営学部経営学科専門科目「経営学」はまず、NDC1000区分表で分類し「335(企業・経営)」の欄に「経営学」、科目群欄には「経営専門」とそれぞれ記入する。基本的に最初は科目名のみを対象とした。科目数だけでも何百、何千とあるので、とりあえず、無理をせず、科目名のみを表を作成してみることにした。作成後に余力があれば、講義要目(Web上と冊子がある)の内容を確認しつつ、より細かいキーワードの切り出しをしていくこととする。例えば、「ビジネスイシューズ」のように科目名だけでは内容がわからず、分類できないときのみに、講義要目を見てみる。「ビジネス英語」であることがわかる。このような場合、科目名のあとに丸括弧書きをする。そして、分類番号「336(経営管理)」のところに記入する。

#### ②重出

分類作業をするときに複数の番号をつけることだが、

この基準表を作成する場合は考えられる番号に全て重出しておくことをお薦めする。例えば、前項の「ビジネスイシューズ(ビジネス英語)」は分類番号「336(経営管理)」の他に「670(商業)」、「830(英語)」といった具合である。というのは、選書資料として使われる「出版情報」ではNDC分類が複数の人間でされており、その観点の違いなどから、人によって分類が一定ではない。また、こちらとしてはなるべく主になっている社会科学の方へ分類を持ってきたいという傾向があるからだ。

### ③ キーワードの切り出し

①で述べたように、次の段階として、より内容に沿った分類にするために、講義要目を参照し、キーワードを切り出す場合がある。例えば、国際関係学部多文化コミュニケーション学科専門科目「北米の社会と文化」は、講義要目の「科目の趣旨・本科目では、先住民と世界各地に出自をもつ移民からなる現代の北米地域、すなわちアメリカ合衆国とカナダの言語、宗教、歴史、価値体系などの文化や社会を総合的に学ぶ。

それによって、この地域の『多言語、多文化の併存』の現状と史的背景を理解する。」から「アメリカ合衆国・カナダの言語・宗教・歴史・価値体系、文化・社会」というワードを切り出して分類している。

### ④ レベルの決定

当館では図書館員の選書は基本的に学部生の学習用図書を選定する。

従って、この基準表では、学部生の卒業論文作成までのレベルなので最高でも「3b」までとなる。学部学科の専門科目があれば「3b」とする。全学共通科目や学部学科の選択科目などは「3a」まで。教養課程学生対象なら「2b」、新入生用の入門レベルなら「2a」となるが、分類番号のところにレベルは一つしか記入できないので、一番高いレベルを記入する。本来、選書基準としては、科目やキーワードごとにレベルを決め、記述しておきたいところである。

### 基準改定の手順

本学では毎年、カリキュラムの改訂が行われるため、

830-839	英語	3a	<p>(リスニング・発音)、英語の文と語法、実用英語 (TOEIC対策)、放送英語 (テレビニュース・映画・インターネット・ラジオ・新聞・子ども番組・コマーシャル・プロパガンダ・検閲・認知操作)、Internet English (世界各国英字新聞内容比較・英語エッセイ作成・英語プレゼンテーション)、American Issues (南北戦争開始後～現代アメリカの歴史・政治・文化・地理・ビジネス)、Global Studies (UNESCOのHPより、民族紛争・国境問題・環境荒廃・社会問題・先進国高齢化問題・長期紛争・世界的疾病・経済問題・政治問題・将来の世界方向性等)、共感性とコミュニケーション (言語と共感性の関連、個人特性の測定、シャドウイング学習法、英語講演の英文スクリプトの作成)、<b>アメリカン・スタディーズ</b></p> <p><b>課程</b> 現代専門 現代教養</p> <p><b>音声学、英語学</b> 異文化コミュニケーション、ビジネス英語実務 英語Ⅰ・Ⅱ、英会話Ⅰ・Ⅱ</p>
840-849	ドイツ語	3a	<p>全学共通 ドイツ語コミュニケーション</p>
850-859	フランス語	3a	<p>全学共通 現代教養 フランス語コミュニケーション フランス語Ⅰ・Ⅱ</p>
860-869	スペイン語、 ポルトガル語	3a	<p>国際専門 多文専門 全学共通</p> <p><b>スペイン語 (地域言語)</b> アジア言語文化入門 (ラテンアメリカ地域の文化・社会・地理・歴史・言語状況)、スペイン語 (地域言語初級Ⅰ-Ⅳ)、スペイン語 (地域言語中級Ⅰ-Ⅳ)、スペイン語 (地域言語上級Ⅰ-Ⅱ) ポルトガル語 (初級・中級)、スペイン語コミュニケーション</p>
870-879	イタリア語	2b	<p>短大教養 現代教養 イタリア語 イタリア語Ⅰ・Ⅱ</p>
880-889	ロシア語	3a	<p>全学共通</p>
890-899	その他の諸言語	2a	

①太字	廃止科目だが再履修あり
②白抜き	前年度新設科目及び追加分
③網掛け	今年度新設科目及び追加分



表3 分野別選書基準案（分類別）

NDC分類	主題	レベル	科目群	特記すべき収集分野、地域、形態等
800-809	言語	3a	国際専門	国際コミュニケーション、異文化コミュニケーション（言語学）、 <b>ヒューマン・イシュー（日本の多言語社会）</b>
810-819	日本語	3a	国際専門 多文専門 全学共通  現代専門 現代教養	<b>地域言語</b> 地域言語（初級Ⅰ-Ⅳ） 日本語Ⅰ-Ⅳ(外国人留学生)、日本語Ⅴ-Ⅷ、文章表現（論文作成能力）、表現とメディア（言語による表現、図像・映像表現）、創造の世界（ことばとイマジネーション・児童文学、アニメーションの世界）、日本語表現法、日本語コミュニケーション ドキュメント表現演習（ビジネスドキュメント） 日本語表現（慣用句・敬語／就活における文章表現）
820-828	中国語	3a	国際専門 多文専門  全学共通  現代教養	<b>地域言語</b> アジア言語文化入門（中国の文化・社会・地理・歴史・言語状況）、地域言語（初級Ⅰ-Ⅳ）、地域言語（中級Ⅰ-Ⅳ）、地域言語（上級Ⅰ-Ⅱ） 中国語コミュニケーション、香港広東語（華僑・華人の歴史、映画・歌謡曲など大衆文化、香港の歴史・社会） 中国語Ⅰ-Ⅱ
829	その他の東洋の諸言語	3a	国際専門  多文専門      全学共通	モンゴル語、 <b>インドネシア語（地域言語）、韓国語（地域言語）、アラビア語（地域言語）、ヒンディー語（地域言語）、</b> タイ語、ベトナム語等 アジア言語文化入門（韓国／朝鮮半島、インドネシア／東南アジア、インド／南アジア、西アジア／イスラーム圏の文化・社会・地理・歴史・言語状況）、韓国語（地域言語初級Ⅰ-Ⅳ）、インドネシア語（地域言語初級Ⅰ-Ⅳ）、ヒンディー語（地域言語初級Ⅰ-Ⅳ）、アラビア語（地域言語初級Ⅰ-Ⅳ）、韓国語（地域言語中級Ⅰ-Ⅳ）、韓国語（地域言語上級Ⅰ-Ⅱ）、インドネシア語（地域言語中級Ⅰ-Ⅳ）、インドネシア語（地域言語上級Ⅰ-Ⅱ）、ヒンディー語（地域言語中級Ⅰ-Ⅳ）、ヒンディー語（地域言語上級Ⅰ-Ⅱ）、アラビア語（地域言語中級Ⅰ-Ⅳ）、アラビア語（地域言語上級Ⅰ-Ⅱ）
830-839	英語	3a	経営専門 ホスピ専門  経済専門 国際専門  多文専門  全般	ビジネスイシューズ（ビジネス英語）、英書購読 英語で学ぶホスピタリティビジネス（接客英語）、 <b>英書購読</b> 経済学基礎英語、経済学中級英語 <b>国際英語プレゼンテーション、国際英語入門、国際英語基礎、国際英語応用</b> Academic English Ⅰ-Ⅳ、英語で学ぶグローバルイノベーション、English for International Studies Ⅰ-Ⅱ、英語で学ぶ地域研究、Thesis Writings Ⅰ-Ⅱ、English Seminar Ⅰ-Ⅱ 実用英語、放送英語、インターネット英語、ビジネスコミュニケーション、国家公務員2種受験英語、 <b>国際英語検定（TOEIC）、英語Ⅰ-Ⅸ（*6）、英語コミュニケーション</b>

それにとりまう基準の改訂について述べる。本当は前年中に改訂できるとよいのだが、教員の講義要項が作られてからとなつてしまふ。4月からの選書に間に合わないのが残念である。改訂の手順を記述する。

① 前年に示されるカリキュラムの廃止や変更の表をチェックし、予め基準表に反映しておく。

前年度に廃止されたが、再履修生などのために残っている科目について、教員に問い合わせ、廃止のものは削除する。前々年度の新設科目についても廃止のものは削除し、定着したものは黒字に直す。再履修生のために残っている科目(①)は緑字にする。前年度の新設科目(②)を青字に直す。

今年度、新設される科目(③)は赤字で前項の作成手順同様、図書を分類するように分類し、表の分類のところに記入しておく。

② 今年度のカリキュラム表に沿つて学部ごとに変更がないか講義要目を参照し、確認する。既に科目が記入されている場合、内容に変更がないか確認し、あれば

赤字で変更する。また、既に記入されている科目を修正する場合、Excelの検索機能を使い、重出した全ての記述を修正する。

③ レベルの見直し

分類ごとにレベルが合っているかどうかを確認する。

前年度と全く同じ科目名でも、教員が変われば、内容が変わつてしまうことがある。内容が変われば、当然必要な資料も変わるわけで、場合によっては、1年でなくなつてしまふキーワードもある。特に教養関係の分野である全学共通科目は要注意である。ただ、この類の科目は専門科目と違い、レベル表でのレベルも低いので、直ちに不要とは考えず、前年度分の新カリキュラムとして青字にして一年間は残しておく。ただし、変わったことはしっかり、押さえておく必要がある。次年度の改訂の際に検討事項となる。

このようにして、選書基準ができたなら(改訂されたら)、図書館運営委員会に諮ってもらい、承認を得て、正式に

成立する。ここで教員にも公開されることになる。

こののち、2009(平成21)年に経営学部にもホスピタリティ・マネジメント学科開設。

2012(平成24)年、国際関係学部にも多文化コミュニケーション学科、2013(平成25)年、短期大学部に現代タウンビジネス学科がそれぞれ開設され、その都度、キーワードが追加され、数も飛躍的に増加した。

〈補足〉NDCの分類作業をしたことがない場合どのようにするか。

最近では当館のようにアウトソーシングなどで、分類作業を行っていない図書館もあると思われる。そういう場合は以下の方法が考えられる。

#### ① 自館のOPACを利用する。

キーワードで検索し、ヒットした図書の請求番号を参考にする。

#### ② NACSSISデータを参照する。

①と同様だが、NCデータ(NACSSIS-CAT)のCLS項目(NCデータの分類項目)を参考にする場合と所蔵データの他大学の請求番号を参考にする場合がある。

#### ③ インターネットの変換アプリを使用する。

あくまで、図書館利用者が資料を探すときの補助ツールとして「NDC Finder」というサイトがある。

<http://inforg.slis.tsukuba.ac.jp/ndcfinder/>

## 5 選書作業の実際

### 図書館職員による選書

選書委員は6名で、メンバーは司書資格を持っている。学部と分野ごとに分担している。

A 経営学部、B 経済学部、C 法学部、D 国際関係学部、E 短期大学部・アジア関係、F 全学、共通科目・一般図書(小説、受賞作品、ベストセラー等)の6名である。

会議は平常時、毎週1回行われ、1回で選書する冊数は約100冊、予算は30万〜50万円ほどである。

選書形態は大きく分けて、日版図書館サービスの「ウィークリー出版情報」によるものと、紀伊國屋書店の見計らいによるビジネス書中心のものがある。「1」の図書館の概要、背景のところでも触れたが、当館は紀伊國屋書店とのつながりが大きく、発注業務も紀伊國屋書店に外注していることから、和書の大半が紀伊國屋書店を通して購入されているため、選書資料を含めこの形態となっている。まず前者についてその手順を説明する。

① コンピュータの画面にExcelの分野別選書基準の表を立ち上げる。

② 重複調査のための検索画面(OPAC)、発注中の図書継続図書の検索画面(紀伊國屋書店のPLATON)、刊行図書の内容及び著者略歴の検索画面(紀伊國屋書店のBook Web Pro)をそれぞれ立ち上げ、選書ツールである日版の「ウィークリー出版情報」を開いて選書作業に取りかかる。

③ ツールも基準もNDC番号順なので順を追ってキー

ワードを見ていく。

内容がキーワードに沿っていれば、購入する候補とする。値段(1000円以上)、著者(大学教員や研究者かどうかなど)、出版社(限定していないが、一部の購入していない出版社を除く)を確認し、対象が「一般」「大学」「専門」のいずれかであればなおよい。また内容の要約を見て、レベルが合っているかどうかもうチェックする。余りに専門的なものは除外することもある。

④ 購入したいものにマーカーで印をつけ、予算区分を記入し、ページに付箋を貼る。

⑤ 年版や多巻物は継続中かどうかを調べる。継続中の場合はその旨を記入しておき、継続中でない場合は出版社のホームページやカタログ等を参考に、内容で単発購入するか継続購入するかを決める。内容がはっきり確認できないものは、購入しないか、とりあえず単発購入し、あとで継続購入に変更する場合もある。

⑥ 新版、改訂版はOPACで検索し、旧版を所蔵して

いれば購入する。

#### ⑦ 選書会議にて決定する。

各自、それぞれの担当ごとに選書した出版情報を持ち寄り、ページごとに発表し、了承し合う。了承しない場合は、了承しない理由を聞き、討議して決定する。あまり迷った場合は、購入しない。また、キーワードがあっても、既にその分野の図書がOPAC検索すると充実している場合や、反対に受講生がそれほど多くない分野などは討議して購入を見送る場合もある。

各大学及び研究機関、または個人からの寄贈資料や、取次や書店が推薦する新刊チラシなどから選書することもある。図書の他にDVD等もこの選書会議で選定する。

#### 登録不要図書

図書館のいわゆる登録された蔵書ではなく、例えば読みもの的なビジネス書、各資格試験のテキスト、就職試験関係書、旅行案内、絵本など短期間の所蔵で済むもので、価格が一冊の登録装備費以下のものを登録不要図書

として、自館整理している。分類も3桁とし、保存年は3～4年である。この選書も「ウィークリー出版情報」で同時に行っている。

#### 見計らいによる選書

経営学部教員の希望で、ビジネス書の選書を選書会議の後、行っている。経営学部、経済学部、国際関係学部、全学共通科目、登録不要、その他、返品するものに分け、選書委員皆で選書する。

#### 教員の選書

紀伊國屋書店をはじめ、いくつかの書店にお願いして、毎年、専任教員ごとに選書資料(和洋)を作成し、6月ごろに教員に配布してもらう。教員はこれにチェックをして図書館に提出する。非常勤教員は学生希望図書の枠で申込みしていただいている。

選書基準は図書館運営委員会を通して、毎年、教員に通知されており、例えば、アジア関係図書(華韓書、洋書)に関しては、選書基準として、「レベル表のレベル3b(学習・教育支援レベル)上級段階」(5(包括レベル))を原則

とする。」というように、明記されている。

## 指定図書

専任・非常勤教員を対象とした、毎年、学生が授業を受ける際に必読の図書を副本含め、一人15冊まで購入することができる制度がある。

## 6. 今後の課題

より良い選書基準とするために

今後、選書委員が交代することがあっても、同様に選書できるような基準にしていく必要がある。前述の「4」基準作成の手順、「④」レベルの決定でも、少し触れたが、この表の形式は蔵書という「かたまり」を評価するために作成されているので、レベルが分類のところの一つしか記入できない。ところが、選書作業においては、一冊一冊を基準に照らし合わせ、購入するかどうか考えるため、少くとも科目やキーワードごとにレベルを決め、記述しておくことが必要である。また、改訂の際には、担当の選書委員が必ず、改訂に携わるようにし、

キーワードを頭に入れておくことが重要である。

## 人を巻き込む

今回の慶應義塾大学田村先生のご発表(図書館にとって専門書とはなにか?—知の再生産を維持・拡大するために「本誌120号に掲載)でこの基準のことが学内外に知られるところとなり、大変ありがたく思っている。本稿を契機に、協力者が増えていくことを期待している。

一昨年度から行っている教員インタビューなどでも、現在の蔵書を評価していただき、今後必要な資料、不要な資料へのご意見・ご希望を聴取することも、有効な方法であろう。

## 人をつくる

この分野別選書基準を維持していくためには相当の労力が必要である。そのために改訂作業をする要員を育てていかなければならない。必ず選書に携わる人員に分担して改訂を行っていききたい。また、それを調整する要員も必要だろう。

昨年度、大幅な人事異動があり、図書館でも課員が何

人が入れ替わった。他部署から異動してきた人員のうち、2人が教学課からで、カリキュラムに精通している人材である。図書館員としてのスキルを今後どう鍛えていけるかが、問われるところである。強みであるカリキュラムの知識を活かして今後、伸びていってほしい。

#### 選書十除籍Ⅱ蔵書基準

現在当館では、毎年約1万冊の図書を受け入れ、約4000冊の図書を除籍している。これを一つの基準で行いたいと思っている。それが、蔵書基準である。

蔵書基準とは固有の図書館の必要と思われる蔵書を具体的に表したもので、コンスベクタス方式では、分類表を使い、分野ごとの蔵書を評価し、作成する。それが作成できれば、必要な図書、同時に不要な図書がわかり、基準に沿って、選書も除籍も可能となる。蔵書基準のコアの部分は変わらないだろうが、選書と同様、カリキュラムの変化で改訂が必要と思われる。

蔵書基準作成のためにはコアの蔵書は何か見極め、基準にその部分を追加しなければならない。これには教員の協力が不可欠であると考ええる。

当館にふさわしい蔵書構成は。そのための予算配分。重点分野は何か。その分野における基本文献、参考図書、逐次刊行物、全集、叢書等、図書館員だけでは決められないところである。この作業に於いて、本来の亜細亜大学図書館の蔵書方針<sup>(3)</sup>がより明確になっていくのではないだろうか。未だ、道半ばである。

#### 7 最後に

一図書館員の単なる仕事にこのような発表の場を与えてくださった関係各者に、心から感謝を申し上げる。

決して新しくもなく、本当に地味な仕事である。参考文献も古い。私自身も長い間、人を巻き込めずに、一人で行ってきた。それが証拠に、「分野別選書基準(案)」の「(案)」がいつまで経ってもとれないでいる。自信がなかったのだ。

この発表を契機に、「(案)」をとろうと思う。

そして、きっかけとなった、宿題を出してくださった教員に本当に感謝申し上げます。先生が具体的な「キーワード」という言葉を教えてくださったからこそ、今の

基準が作成され、選書作業ができていたのだから。それから、最初に選書基準の見直しを私に命じた敬愛する上司、今は亡き、森万佐子氏（NDCの森清先生のご息女）に感謝と哀悼の意をささげる。

### 《注》

#### (1) コンソベクタス方式

R L G (Research Library Group) が開発した図書館の分類法を基にした、蔵書構成を相互に調整するための基本的ツールになるもので、米国の多くの図書館、図書館のグループで採用されている。

客観的に個々の主題ごとに蔵書の相対的な大きさや性質をあらわす蔵書レベル表と、特定主題資料の言語分布状況をあらわす言語コード表を、主題レベルLC分類表で区分されたワークシートに当てはめていくというものである。これにより、現在の蔵書充実度、収書強調度を表現することができる。  
〔出典〕『ALA蔵書の管理と構成のためのガイドブック』アメリカ図書館協会 図書館蔵書・整理業務部会編 1995、日本図書館協会

#### (2) コンソベクタス方式のレベル表

当館で使用しているレベル表は一部、修正しているもので、参考にされる場合は、本体のレベル表を参照してほしい。

#### (3) 蔵書方針書とは

蔵書構成・蔵書管理計画は、資料を入手し、まとまった蔵書に編入し、蔵書の増加と保全を管理し、コスト面と利用者の利益を考慮して適当なときに除籍する仕事の全体を組織だて、指示を与えるものである……(中略)……蔵書構成を通して図書館の目的をはっきりさせ、その目的を実現してきた蔵書の範囲を明確に記述している、文書化した蔵書方針である。  
〔出典〕『ALA蔵書の管理と構成のためのガイドブック』アメリカ図書館協会 図書館蔵書・整理業務部会編 1995、日本図書館協会

### 《参考文献》

アメリカ図書館協会 図書館蔵書・整理業務部、小川徹、河合弘志編『ALA蔵書の管理と構成のためのガイドブック』青木良一ほか訳、日本図書館協会、1995、160ページ。  
丹羽展子、井上真琴「特集 選書の現場から」学習支援のための選書をめぐって——同志社大学図書館の試み『図書館雑誌』2007、101(6)、362～364ページ。

大石 美佐子(おおいし みさこ)



## お金に困っている友だちに16万円を貸すかどうかについて

渡邊 光（勁草書房編集部）

正しい行為ってなんだろう

勁草書房は「双書現代倫理学」シリーズという、20世紀の英米倫理学の重要著作の刊行をはじめた（まだ一冊しか出ていないが。全10巻の一覧は本稿の末尾を参照）。この文章ではそのシリーズを紹介するわけのだけれども、その前に次の問題を考えてみたい。

ある日の夕食時、高校時代の友だちが家にやってきた。話を聞いてみると、どうも預金がないにもかかわらずクレジットカードを使い込んだらしい。金額は16万円。返済に困っているのでお金を貸してほしいという。

さて、あなたならどうするだろうか。ここに書かれた程度のことでは何とも言えないかもしれない。その友だちと親しかったのか、そうでもないのか。どの程度の関係だったのかは貸すかどうかに大きく関係しそうだ。あてがないのに使い込んだくらいなのだから、返してくれるかどうかはかなりあやしい。返してもらえるととしてもそれはかなり先のことになりそうだ。

そもそも貸せるのかどうかだって問題だ。頼まれる側も借金持ちだったりしたら、お金を貸すのは難しいだろう。借金がないにしても、こっちだってギリギリの生活費で何とかやっているんだから、他人様に貸すお金なんかない、ってのもありうる答えだ。お金があったとしても、預金もないのにクレジットカードで物を買うなんて

のはまったく話にならない、「自己責任」なんだからお金を貸してやる必要なんか無い、いや貸すべきでさえない、という答えもありそうだ。でも、その友だちがとても仲の良い人で、自分自身が金銭的に全然困ってなくて、いやむしろ余裕があるくらいなので(貸して)あげるよ、という奇特な人もいるかもしれない。

このようなケースでお金に困っている友だちを助けるのは正しい行為なのだろうか。お金を貸すべきなのかどうか。貸すのだとしたら、全額？ それとも半分くらい？ あるいはお金を貸すのではなくて、きちんと返済できるように生活を助けてあげるなり、仕事を紹介するのが良いのだろうか。母親のダイナマイト心中を起点に自殺する人への優しいまなざしを二冊の本(「自殺」朝日出版社、二〇一三年)にまとめた末井昭さんは、「最初は面倒だからお金を貸してあげてただけど、次から次へとぼくんとこに人が来るようになってしまったから、お金の話になる気配を感じたらもう電話を切るようになった」と言っていた(ちなみに末井さん自身も数億の借金を負ったことのある人だ)。一回限りでなくて、繰り返しを経験が判断を変えることもあるようだ。こういうとき、ど

ういうふうを考えて行動すべきなのだろう。

### 行為の選択と倫理学

このような道徳的、倫理的な価値判断を筋道立てて学問的に考えるのが倫理学のやっていることだ(そのはず。倫理学への入門書としては、伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会、二〇〇八年がおもしろい。以下の規範倫理学に関する記述もこの本を参考にしてている)。とくにこういった、どのような行為を選択すべきか、どのように生きるべきかといった日常生活にも関わるような基礎的な価値判断は、規範倫理学と呼ばれる分野に含まれる。学問としての倫理学には、他に、もっと具体的な事例(妊娠中絶のような問題を検討する生命倫理や温暖化などの問題を扱う環境倫理、動物の権利について考える動物倫理など)を扱う応用倫理学と、そもそも「正しい」や「善い」という言葉の意味とは何かという、より抽象的なことについて考えるメタ倫理学がある。じゃあ、規範倫理学から見ると、16万円のお金の件はどうなるだろうか。

規範倫理学には、三つの有力な立場がある。功利主義義務論、徳倫理学だ。まずは功利主義の立場からすると

どんな判断を下すことになるかを見てみよう。世界的に有名な功利主義者にピーター・シンガーという人がいる。動物の解放を最初に主張した人で、いまはプリンストン大学の教授だ。彼だったら、16万円をその友だちに貸す(あげる)くらいなら、途上国支援のために寄付するべきだと言うだろう(ピーター・シンガー『あなたが救える命』——世界の貧困を終わらせるために今すぐできること『児玉聡・石川涼子訳、勁草書房、二〇一四年)。その16万円で複数の人を、命の危機から救うあるいは極度の貧困状態から脱出させることができるかもしれないからだ。16万円を友だちに渡しても助かるのはその人ひとりだけだ。「最大多数の最大幸福」と、できるだけ多くの人に幸福をもたらす行為を善しとする功利主義からすれば、友だちにお金を貸すのは正しい行為とは言えなさそうだ。

では義務論からすると、どんな結論が出てくるだろうか。義務論の一番有名なフレーズは「きみの意志の準則が、つねに同時に普遍的立法の原理として妥当しうるように行為せよ」(カント『実践理性批判』——倫理の形而上学の基礎づけ)熊野純彦訳、作品社、二〇一三年、六四頁)だろう。つまりは、誰もがそのルールに従うべきだと考えられるよ

うな行為のみが義務とされるといふことだ。功利主義の場合、その行為によって、どのような結果が生じるかが行為の選択の際に重要になるけれど、義務論の場合、結果は問題にならない。何かの条件が付けば正しかったり、間違っていたりするのではなく、正しいことは常に正しいし、間違っていることは常に間違っているというわけだ。だから、義務論の立場からすれば、殺人は悪いことである以上、たとえヒトラーのような大虐殺を行った独裁者であっても殺してはならない。功利主義者だったら、多くの命が失われるくらいならひとり殺すことの方を選ぶだろう。でも、16万円を貸すかどうかは義務と言えようか。「困っている人は助けなければならぬ」というのは義務になるだろう。だから友だちであるかどうかにかかわらず、目の前の困っている人を助けるべきだとは言えそうだ。けれども、具体的にどのように助けるべきか、お金を貸すべきなのかどうかについてはちょっとはつきりしない。

最後に徳倫理学の立場からは何が言えるだろうか。徳倫理学は先の功利主義や義務論のように「行為のあり方」を問題にするのではなく、「人のあり方」を重視す

る(フィリップ・フット『人間にとって善とは何か——徳倫理学入門』高橋久一郎監訳、筑摩書房、二〇一四年)／『徳倫理学基本論文集』加藤尚武・児玉聡監訳、勁草書房、二〇一五年)。困っている人を見たときに、その人を助けることが人々の幸福につながるかどうか、義務かどうかを冷静に考えるのではなく、自然と手を差し伸べることができるような「いい人」が望ましい人だと考える。「人徳」を備えていない人はどうすればいいのかと困ってしまうが、行為の指針としては「徳のある人ならばどう行動するだろうか?」を考えて行為を決定すれば良いということになる。16万円を貸してほしい友だちの件で考えると、「貸す金なんかないからさっさと帰ってくれ」と言うのは「いい人」とは言えないだろう。徳倫理学からすれば、少なくともその友だちがどのような状況にあるのか話を聞き、可能な範囲で必要な手立てを講じるべきということになりそうだ。

### 双書現代倫理学と普段の価値判断

20世紀後半の規範倫理学は、功利主義と義務論の対立(児玉聡『功利と直観——英米倫理思想史入門』勁草書房、

二〇一〇年は倫理思想史の観点からすると、功利主義と対立してきたのは義務論と呼ぶよりも直観主義と言う方が適切ではないかと指摘する、ユニークな本だ)、徳倫理学が両者を批判するかたちで割って入るという構図だった。

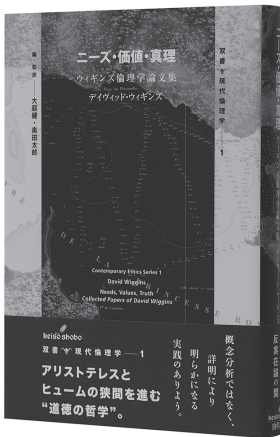
ようやく本題に入ると、「双書現代倫理学」シリーズにはこの三者のうち、とくに徳倫理学に関係する著作が多く入っている。徳倫理学はアリストテレスの議論に依拠することが多く、新アリストテレス主義とも呼ばれる。すでに刊行したデイヴィッド・ウィギンズ『ニーズ・価値・真理』もニーズ、必要とするということについて、アリストテレスに影響を受けながら議論している。また、ウィギンズの教え子でもあるジョン・マクダウェル(『徳と理性』今夏刊行予定)はメタ倫理学の分野で徳倫理学と同調する議論を展開した。マクダウェルとサイモン・ブラックバーン(『倫理的反実在論』来春刊行予定)の論争は、20世紀後半の倫理学のなかの大きな軸だった。

いま名前を挙げた三人よりも年長格のバーナード・ウィリアムズも功利主義を批判し、徳倫理学に繋がる主張をした人だ。功利主義者のJ・J・C・スマートとの共著『功利主義——擁護と批判』(今冬刊行予定)はタイト

「双書現代倫理学」全10巻

書名	著者名	価格
ニーズ・価値・真理——ウィギンズ倫理学論文集	D・ウィギンズ／大庭・奥田編・監訳	3,700円
徳と理性——マクダウェル倫理学論文集	J・マクダウェル／大庭・萩原編・監訳	今夏刊行
倫理的現実論——ブラックバーン倫理学論文集	S・ブラックバーン／大庭・萩原・奥田編・監訳	来春刊行
現代倫理学基本論文集Ⅰ——メタ倫理学篇	大庭健編／島村・古田ほか訳	続刊
現代倫理学基本論文集Ⅱ——規範倫理学篇	大庭健編／田原・円増ほか訳	続刊
利他主義の可能性	T・ネーゲル／蔵田伸雄監訳	今冬刊行
功利主義——擁護と批判	J・J・C・スマート&B・ウィリアムズ／坂井・田村訳	今冬刊行
「正しい」ことと「よい」こと ——倫理的直観主義の可能性	W・D・ロス／立花幸司訳	続刊
すっぱい葡萄——合理性の転覆について	J・エルスター／玉手慎太郎訳	続刊
道徳的な運——哲学論集一九七三—一九八〇	B・ウィリアムズ／伊勢田哲治監訳	続刊

\*現代英米倫理学の古典を紹介する翻訳シリーズ（四六判・上製、一部仮題）



渡邊光（わたなべ ひかる）

ル通りスマートの擁護とウィリアムズの批判、二つの論考からなる。また、ウィリアムズ『道徳的な運』（刊行時期未定）は、表題となっている論文など、彼の著名論文を集めた論文集だ。『現代倫理学基本論文集Ⅰ・Ⅱ』（刊行時期未定）では、規範倫理学やメタ倫理学のその他の著名な論文が収録されている。今回の紹介で興味を抱かれた方には、ぜひ『現代倫理学基本論文集Ⅱ 規範倫理学篇』を手にとっていただきたい（刊行の暁には）。

どの本もわれわれの普段の価値判断を顧みるのに役立つはずだ。日常生活のなかの様々な判断をどのように果たかで下しているのか、よくよく考えてみたい方に、読んで楽しんでいただければ嬉しい。

## 2015年特約店グループ訪問報告

今年も20社・4班で各方面を訪問中です。本号で3班分、次号で北関東・北陸班の報告を致します。

### 盛岡・仙台・山形方面

報告 三橋直也(紀伊國屋書店)

● 期日…2015年6月17日(水)～19日(金)

● 参加メンバー…島田(晶文社)、五月女(日本評論社)、須藤(ミネルヴァ書房)、三橋(紀伊國屋書店)

● 訪問書店(訪問順)

【盛岡】さわや書店フェザン店、岩手大学生協、ジュンク堂書店盛岡店、MORIOKATSUTAYA

【仙台】紀伊國屋書店東北営業部、ヤマト屋書店仙台三越店、あゆみBooks仙台一番町店、東北大学生協、あゆみBooks仙台青葉通り店、丸善仙台アエル店、喜久屋書店仙台店、紀伊國屋書店仙台店

【山形】山形大学生協、八文字屋本店、こまつ書店寿町本店

● 感想

人文会としての東北訪問は2012年10月の全体での訪問以来2年半ぶりである。

初日は盛岡市を訪問。

まずは駅中のさわや書店フェザン店へ。店次長担当の人文フェアー棚は特色が出て面白い。店内の派手なPOPはなかなかの迫力。千冊以上売った新書もあり底力のある店である。

岩手大学生協は昨年4月に改装し書籍売り場が減少、商品入れ替え後のメンテが十分でないとの事。担当の皆さんやる気十分にてなんとかお手伝いしたい。

ジュンク堂書店盛岡店は、商品量市内一番店の貫録。訪問当日は雨天、立地的に悪天候の影響を受けやすいのかもしれない。

MORIOKATSUTAYAは盛岡駅から車で10

分の郊外店、週末には向かいのイオンを含め駐車場が一杯になる盛況ぶり。書籍以外商品のシェアーが徐々に増えているが、書籍売上も前年アップと勢いを感じた店舗だった。

2日目は仙台市内。

紀伊國屋書店東北営業部を訪問。部長以下営業マンとの意見交換を実施。大学図書館では「店頭で何が売れているのか」といった情報が欲しい由。「教養書リスト」や「人文会ベスト」等の定番や、「東北関連本」などカスタマイズした情報は有効との話。

ヤマト屋書店仙台三越店は三越の地下2階に位置しデパート来店のお客様をしっかりキープしている模様。同チェーンの石巻2店舗の再開はまだ難しいとの厳しいお話があった。

あゆみBooks 仙台一番店、仙台青葉通り店の2店舗は路面店の立地をうまく生かしビジネスマンを上手に取り込んでいる。地区長からは「専門書をきちんと売ることがコンセプト」との話があり種々圧力がある様だが気概を感じた。「頑張って貰いたいものである」。

東北大生協は東北地区最大の売り場で良く管理されて

いる印象を持った。人文書の手引きを参考にした選書がされている由でとても有難い。

丸善仙台アエル店は、駅前の1階と最高のロケーション。お客様も良く入っておりいつもながら活気が感じられる。人文ご担当者もなかなか熱心な方で心強かった。

ジュンク堂書店仙台TTR店では、昨年10月の仙台本店閉店に伴い人文書棚を拡張、売上好調との事。ご担当者のこまめな棚チェックが売上を支えており、ご担当の努力がうかがわれる。12月に予定されている地下鉄東西線の開通では立地的に恩恵を受ける見込みにてこれからも楽しみな店である。

喜久屋書店仙台店は、昨年のジュンク堂仙台本店の閉店に伴い、上階より移転し従来のコミック専門店から一般書、専門書も扱う事になった。急な開店で相当苦労された様子。棚担当者は非常に熱心で今後に期待したい。

紀伊國屋書店仙台店は郊外のショッピングセンター3階に立地。店長によると「落ち着いて商品を選ぶ雰囲気作りが目下の課題」との事で、仙台駅前に大型書店が集中しているなかで郊外店の特色を出した店を目指されている。

3日目は山形に移動、人文会としては久々の訪問となった。

山形大学生協は、近隣に書店が無い事から教員、学生の利用率は高い由。人文書ご担当者は昨年からの事だが、非常に研究熱心、同大学出身で教員の専門を良くおさえており、これからが非常に楽しみ。

八文字屋本店は繁華街路面店の立地を生かし、商店街の様々なイベントに参加されている。市内では無くてはならない存在になっている印象を受けた。

こまつ書店寿町本店は、幹線道路沿いの路面店で周囲には学校が点在しており絶好の立地と店長談。売上も好調との事だが、店長多忙にて棚管理までは手が行き届いていないらしく、なんとか応援していきたいものである。3日間終わってみると、訪問先の全てからネガティブな言葉が聞かれず、前向きで力強さを感じた。東北の底力だろうか、とてもパワーを貰った気がする。

今回お忙しい中お時間を作って下さった書店の皆様本当に有難うございました。

お会いしてこそ生まれる商機もあり足を運ぶ事の重要性を再認識しました。誠に有難うございました。

## 京都・名古屋方面

報告 橋元博樹(東京大学出版会)

● 期日…2015年6月24日(水)～26日(金)

● 参加メンバー…片桐(春秋社)、新保(誠信書房)、水口(創元社)、朝倉(法政大学出版局)、田崎(みすず書房)、水谷(未來社)、橋元(東京大学出版会)

● 訪問書店…ジュンク堂書店京都店、ジュンク堂書店京都朝日会館店、京都大学生協ルネ店、同志社大学生協今出川店、大垣書店烏丸三条店、大垣書店四条店、紀伊國屋書店京都営業部、大垣書店イオンモール桂川店、大垣書店イオンモールKYOTO店、アバンティ・ブックセンター、三省堂書店名古屋高島屋店、ジュンク堂書店名古屋店、丸善名古屋本店、ジュンク堂書店ロフト名古屋店、らくだ書店本店、ちくさ正文館、紀伊國屋書店中部営業部

### ● 感想

春のグループ訪問としては、京都地区は2年ぶり、名



古屋地区は昨年に続き2年連続となる。同じ地域を短い期間に幾度も訪問すること自体珍しいことであるが、それだけ両地区の書店をめぐる環境が目まぐるしく変わったということなのであろう。

初日は京都から。ジュンク堂京都本店の、老舗らしい堂々とした変化のなさにやや安堵するも、この夏に閉店するジュンク堂書店朝日会館店では丸善京都本店の開店にもなう諸々の話を伺う。朝日会館店を閉め、かつてジュンク堂書店京都BAL店があった河原町のBALビル(B1とB2)に丸善京都本店が出店するのである。伝統ある「丸善京都店」としては、じつに10年ぶりの再出店となる。前回、たまたまリニューアル直後の棚が定まらない時期に訪問した京大生協ルネ店は、この2年間を経て見事に再起していた。京大生・教員に支持される昔ながらの生協書籍部の存在はわれわれにとっても心強い限りである。

2日目の大垣書店イオンモール桂川店は人文会として初訪問。京都駅から二駅、約5分ほど離れたイオンモール桂川の1Fにカフェを備えた瀟洒な店舗を構えている。精神世界、教育書、学習参考書などが比較的よく売

れるということなので、近隣のファミリー層をうまく取り込んでいるのだろう。人文書はともかく、他分野は京都駅前のアバンティ・ブックセンター、大垣書店イオンモールKYOTO店と競合することは必至であろう。

3日目は名古屋へ。初訪問のらくだ書店は郊外の住宅地に位置する中型店であった。棚の様子からは、人文書に力をいれようという姿勢のほかに、周辺顧客のニーズに過不足なく応えた地域密着型店であることが窺い知れた。一方名古屋駅前の変化はめまぐるしい。大名古屋ビルディングの立て替え、JRゲートタワーの建設など、駅前再開発にもなう建設ラッシュが始まっている。2017年は三省堂高島屋店がJRゲートタワーに移転する。街の変化とともに人の流れも大きく変わることだろう。

二つの大きな都市を駆け足で巡った3日間だったが、2日目の京都では長時間にわたり、大田丸との人文書販売合同研修会を開催したことを最後に記しておく。こちらには参加者総勢50名の充実した会となった。

## 大分・福岡・佐賀方面

報告 乙子智(慶應義塾大学出版会)

● 期日…6月17日(水)～19日(金)

● 参加メンバー…西(大月書店)、森(青土社)、清田(平凡社)、

乙子(慶應義塾大学出版会)

● 訪問書店(訪問順)

【大分】紀伊國屋書店アミュープラザおおい店、ジュンク堂書店大分店、リプロ大分トキハ店、明林堂書店大分本店、紀伊國屋書店大分店

【福岡】喜久屋書店小倉店、ブックセンタークエスト小倉本店、アカデミアサンリブシティ小倉店、MARUZEN博多店、ジュンク堂書店福岡店、九州大学生協文系書籍店、紀伊國屋書店福岡営業所、紀伊國屋書店福岡本店

【佐賀】葛屋書店武雄市図書館

● 感想

2012年以來3年ぶりとなる、今回の九州エリア

の特約店訪問は、大分・福岡・佐賀と、九州北部を東から西へ移動する行程で実施した。本来であれば、訪問書店すべてに対して御礼と詳細な感想を述べるべきだが、紙幅の関係から人文会として初めて伺ったお店や全体的な所感に留めることをご容赦いただきたい。

まず、1日目に訪れた大分では、今年4月に新駅ビル「JRおおい店」が完成し駅前の様相が一変。同駅ビルを構成する商業施設「アミュープラザおおい」には、九州初出店を多数含む150以上のテナントが入り、大規模な立体駐車場を備える等、東京都部の駅ビルと比べても遜色のない規模と質を誇り、近隣都市や郊外から人の流れを呼び寄せたいという関係者の意気込みが強く感じられた。

その中でオープンした紀伊國屋書店アミュープラザおおい店は、同社では初めて「ラボ」と呼ばれる可動式の小屋型什器を設置し、その中で紀伊國屋書店海外店舗での物販商品の展開、絵本の複製原画展等を展開していた。また、これらの「ラボ」を移動させてスペースを作り、バイオリン演奏のイベントも開催するなど、新しい取り組みにより地元の人たちを惹きつけ、書籍の販売に留ま

らず文化的拠点を目指す姿勢が見てとれた。

一方で、大分駅前メイン商店街には、百貨店トキハ内に昨年10月オープンしたリプロ大分トキハ店やジュンク堂書店大分店も立地し、5〜10分ほどの徒歩圏内にくつもの書店が林立する状態となっている。各店舗では、駅ビル完成以後、市況は変化しつつあるが独自の特徴を出してそれぞれに合った客層のための棚作りをしているという方針をうかがった。

訪問した時点では、アミュープラザが開業してまだ二ヶ月足らずであったので、オープン後の最初のリアクションがようやく落ち着いてきた段階で、具体的な市況の変化を感じ取るには時期尚早すぎたが、今後しばらくは同商業施設が中心となって新しい商圈が形成されていくことが予感された。

2日目は福岡へ移動(小倉・博多)。今回の訪問地区だけでなく九州全体から見ても政治・経済の中心地であり商圈として最も大きい地区だが、近年の大型店舗の出店はなく、書店地図としては特別な変動はない模様。なお、来年(2016年)春、博多駅直結の商業ビルが完成し九州初上陸となる丸井グループが出店予定ということ

で、出店後にどのような人の流れの変化が起こるのかが注目される。

同地区の書店で共通する傾向として、教育書の棚が非常に充実しており、実際に事前アンケートで「好調なジャンル」に教育書と記入いただいたお店もあった。他の地域ではあまり見られないことなので、その点について各店でうかがってみたところ、福岡県では教員向けに「教育活動に資する書籍」への年間7000円の補助金が支給されるという制度があることを教えていただいた。書店によっては、この期間に合わせた大規模なフェアを準備するなど、同県の書籍販売傾向の特色として非常に興味深い話をうかがった。

3日目は午前中に紀伊國屋書店福岡営業所と紀伊國屋書店福岡本店を訪問後、佐賀へと移動。人文会として初めて蔦屋書店武雄市図書館を訪問した。

蔦屋書店武雄市図書館は、JR九州佐世保線の武雄温泉駅から徒歩10分強ほどに立地し、郊外と言っても十分に駅から歩ける距離にあるが、鉄道を利用するのは私たちがのような旅行者が大半で、ほとんどが地元の方も含め長崎、福岡辺りから車で訪れるとのこと。図書館の内

部についてはすでに多くのメディアで紹介されているところだが、代官山蔦屋書店からの系譜である、「高級感のある什器」「分野別に小部屋に分けられたレイアウト」「各ジャンルに専門のコンシェルジュを配置」といった特徴はしっかりと受け継がれていた。ただ、当然のことながらあくまで「図書館」がメインであるので、小部屋の中に配架されているのは図書館の蔵書であり、販売書籍は通路に向かって手前の棚のみとなっているため販売スペースとしてはかなり限定されていた。その限定されたスペースの中では、あえてベストセラーを置かず、定番書や中級の専門書を置くことを心がけ、入門書や読みものの類は図書館の方で配架する方針というのをうかがった。つまり、「Introduction」には無料で借りることのできる書籍が割り当てられ、「Further reading」の部分には販売書籍が割り当てられるということになり、むしろ逆の構成を想定していたのでこれは新鮮な驚きだった。

また、他の蔦屋書店との比較という意味では、カフェ（スターバックス）との距離感が挙げられる。もちろん蔦屋書店では多くの店舗でもカフェが併設されているが、この店舗では特に図書館（および書店）との境がなく、書籍

を借りて（あるいは購入して）そのままカフェで読書をすることも可能となっており、読書をする上で最高の環境を追求していることがよく分かった。

今回の九州訪問では、郊外と中心市街との関係性や、新しいライフスタイルを提供して地域住民にアピールする試み等、地方がかかえる課題や取り組みを直接書店の方のお話をうかがうことで実感することができ、非常に充実した3日間となった。

最後に、お忙しい中お時間を作ってくださいだった書店の皆様にご心より御礼申し上げます。

## 広報委員会

委員長 岩野忠昭

広報委員会の活動は「人文会ニュース」を年3回発行すること、人文会ウェブサイトを経営することが大きな柱です。

「人文会ニュース」は、人文会会誌として会活動の広報の場であるほか、「書店現場から」「図書館レポート」など、各分野の方の実践について興味深い報告も柱です。また「15分で読む」は、各界の第一人者の方に最新の学問の動向をコンパクトにまとめていただいた人気記事となっています。さらに「編集者が語る」は、各社の叢書、シリーズ、全集などの担当者に依頼して、企画の裏話、編集苦勞譚などを開陳してもらっています。

さて前期は119号掲載の「15分で読む」の「現代民主政治の危機と『言葉のお守り的使用法』」をベースに十数店舗の書店店頭でフェアを開催いたしました。このような取り組みは初めてだったにもかかわらず、多くの書店で好評を博しました。今期は販売・企画委員会と協力し、このような「人文会ニュース」発のフェアにも取り組んでいきたいと思ひます。

次に人文会ウェブサイト (<http://www.jinbunkai.com/>) ですが、今春、大幅にリニューアルし、デザインやコンテンツの更新を広報委員会で行なうようになりました。それに伴い、改めてコンテンツの見直しを行ない、今後は今まで以上に人文会と会員各社の情報発信の場としてウェブサイト充実させていくつもりです。

紙媒体とウェブ媒体というそれぞれの特性を活かし、また補完し合いながら、人文書の普及に寄与していきたいと考えております。今期もよろしくお願ひいたします。

◎岩野忠昭(白水社)  
○乙子 智(慶應義塾大学出版会)  
西 浩孝(大月書店)  
島田孝久(晶文社)  
水谷幹夫(未来社)  
(◎委員長／○副委員長)

## 調査・研修委員会

委員長 橋元博樹

マスの出版流通をめぐる議論、あるいはノスタルジックな“書店”をめぐるイベントは盛んにおこなわれているように思いますが、人文書特有の流通と販売を考える機会となるとそう多くあるわけではありません。そうした状況に鑑みるに今期に掲げたい課題のひとつは人文書の流通と販売をめぐる議論をよりいっそう活発に行うという点にあります。例年秋の研修旅行では、当委員会が企画運営の主体となって現地の書店様との研修会を行っています。この研修会は、書店人としての経歴も、店の規模も、法人の性格も、それぞれに異なる人文書担当者が一堂に会し、人文書販売に関する疑問や意見を交わす場であり、参加する書店様に有益な情報を提供するだけでなく、われわれにとっても書店の現状を把握し販売施策を考えるうえでは有意義な場となります。

そして、課題のふたつは、会員社相互の情報交換をより密に行うということです。出版流通の現場では、一出版社固有の経験や知識だけからはもはや対応できない事態が次々に起こっていることは明らかです。いまやわれわれは、経験と知識の相互交流を通じて、人文書販売の次のステージを構想する局面に立たされているのではないかと、思えてなりません。

今期もどうぞよろしく願いいたします。

◎橋元博樹(東京大学出版会)

○片山伸治(吉川弘文館)

西野浩文(勁草書房)

藤井若菜彦(筑摩書房)

清田康晃(平凡社)

(◎委員長／○副委員長)

## 委員会活動方針

### 販売・企画委員会

委員長 片桐幹夫

人文書の読者の方々は、雑誌や文庫・新書・文芸書など幅広い興味をもって、重要な読者だと私たちは確信しています。販売・企画委員会はそのような読者の皆様の知的関心にお応えするべく、他の2つの委員会と協力し、以下の3つの方向性で積極的な活動を行っていきたいと考えています。

①店頭での良書との出会い。継続的に行っている「ベストセレクション」などのフェアと共に、広報委員会と連携して、『人文会ニュース』に収録される「15分で読むシリーズ」をフェア企画化し提案する。②販売会社様などと協力し、人文書の基本図書をいつでも店頭で手に取ってみることのできる環境構築をめざす。③図書館での良書との出会い。公共・学校図書館様に対して、調査・研修委員会と協力して、充実した蔵書と読書推進プランを提案する。

また、本年9月には、ご好評頂いている『人文書販売の手引き』の改訂版が刊行されます。専門書籍の販売環境はさらに厳しいものとなっていますが、本委員会は今期、優秀な若き委員を2名迎えることができました。皆様のご支援を賜りながら、各施策にもとづき、さらに充実した活動を展開すると共に「人文会」だからできる業界貢献に努めたいと考えています。1年間よろしく願いいたします。

◎片桐幹夫(春秋社)

○朝倉哲哉(法政大学出版局)

三橋直也(紀伊國屋書店)

須藤 圭(ミネルヴァ書房)

五月女公(日本評論社)

水口大介(創元社)

森 卓巳(青土社)

(◎委員長／○副委員長)

日時：2015/3/18 15:00～17:00

場所：筑摩書房本社 4F会議室

1. 代表幹事より
2. 委員会活動報告
3. 年間行事確認
4. その他

☆2015.4月例会＋内部勉強会

日時：2015/4/15 14:00～15:30

場所：筑摩書房本社 4F会議室

1. 代表幹事より
2. 委員会活動報告
3. 年間行事確認
4. その他

○勉強会 15:30～17:00

講師：小島秀人(筑摩書房)

テーマ：『出版営業にデータをどう生かすか——POSデータ活用事例から業界インフラまで』

\*出席者：正担当者20名／会員社12名

□2015/4/17 人文会ニュース120号 刊行 4/22発送

敬称略



場所：筑摩書房本社 4F会議室

欠席：水口(創元社)／代理：藤井(筑摩書房)

1. 代表幹事より
2. 各委員会活動報告
3. その他 人文・社会科学系出版五団体合同新年会概要

☆2015.1月例会

日時：2015/1/21 15:00～17:00

場所：筑摩書房本社 4F会議室

1. 代表幹事より
2. 各委員会活動報告
3. その他

○2015年(第38回)人文・社会科学系出版五団体合同新年会

日時：2015/1/21 18:00～20:00

会場：「ホテルメトロポリタン エドモント」2階「悠久」

出席者：

- ・書店様および大学生協関係者 21法人32名(当日追加1名)
- ・販売会社 8社20名
- ・報道関係 4社4名
- 計33法人56名
- ・5団体会員社 63社136名 (人文会：20社53名)

総勢192名

式次第

司会 福島 舞(人文会／青土社)

主催者代表の挨拶 人文会代表幹事 田崎洋幸(みすず書房)

来賓代表挨拶 日本出版販売株式会社専務取締役 安西浩和

乾杯ご発声 株式会社トーハン取締役商品本部長兼仕入企画推進室長 谷川直人  
歓談

中締め 法経会代表幹事 古澤悦雄(日本評論社)

18:05開宴20:20終了 当番幹事団体 人文会

☆2015.2月例会

日時：2015/2/18 15:00～17:00

場所：筑摩書房本社 4F会議室

代理：段塚(紀伊國屋書店)

1. 代表幹事より
2. 委員会活動報告
3. 年間行事確認
4. その他

☆2015.3月例会

山) / 人文会 (田崎・新保)

☆9月例会

日時：2014/9/17 14:00～17:00

場所：出版クラブ会館

代理：藤井(筑摩書房)

1. 代表幹事・幹事会より
2. 各委員会活動報告
3. 秋季研修旅行概要

○2014年人文会秋季研修旅行

期日：2014/10/15(水)～10/17(金)

方面：群馬・新潟

販売会社同行：トーハン 桜井秀則 / 日本出版販売 駒村一雄 / 大阪屋 樋口和彦  
旅行幹事：三上(ミネルヴァ書房)・西(大月書店)

○TRC新座ブックナリー見学会

日時：2014/10/22(水) 15:30～17:00

場所：TRC新座ブックナリー

出席者：TRC物流管理部部長 松本百充 / 仕入部部长 田辺明彦 / 仕入部主任 池田和  
弥 / 仕入部 瀬尾俊二

人文会：見学会 32名

○図書館総合展

期間：2014/11/5～11/7

場所：パシフィコ横浜

11/5(金) 10:30～12:00 人文会・歴史書懇話会主催フォーラム「専門書出版社と大学図書館」

講師：田村俊作(慶應義塾大学メディアセンター所長)・加藤信哉(筑波大学付属図書館副館長)・江草貞治(有斐閣)・持谷寿夫(みすず書房)

☆11月例会

日時：2014/11/19 15:00～17:00

場所：筑摩書房本社 4F会議室

代理：廣井(筑摩書房)・田代(白水社)

1. 代表幹事より
2. 各委員会活動報告
3. その他

来会者：紀伊國屋書店アミューブックおおいた開店準備室 伊藤稔 / 紀伊國屋書店店売総本部 吉田敏恵

□2014/12/10 人文会ニュース119号 刊行 12/12発送

☆12月例会

日時：2014/12/19 15:00～17:00

- ・6/11～6/13 中部(長野・愛知)グループ：紀伊國屋書店◎・誠信書房・未来社・青土社・みすず書房
- ・6/11～6/13 関西(大阪・奈良・和歌山)グループ：御茶の水書房◎・法政大学出版局・晶文社・白水社・平凡社
- ・6/11～6/13 四国(徳島・香川・高知・愛媛)グループ：勁草書房◎・筑摩書房・創元社・大月書店・春秋社
- ・7/17～7/19 北海道(函館・札幌・帯広)グループ：吉川弘文館◎・東京大学出版会・慶應義塾大学出版会・日本評論社・ミネルヴァ書房

☆7月例会

日時：2014/7/16 14:00～16:00

場所：筑摩書房本社 4F会議室

1. 代表幹事・幹事会より
2. 各委員会活動報告
3. 秋季研修旅行概要
4. 特約店グループ訪問進行状況
5. その他

来会者：TRC松村氏・瀬尾氏「人文書基本図書カタログによる販売状況」16:30～17:00

□2014/8/1 人文会ニュース118号 刊行 8/4発送

☆8月例会

日時：2014/8/20 14:00～16:00

場所：出版クラブ会館 桃の間

欠席：水口(創元社)／代理：足立(東京大学出版会)・緒方(平凡社)

■議題

1. 代表幹事より
2. 各委員会活動報告
3. その他

○内部勉強会 16:00～17:00

講師：乙子智(慶應義塾大学出版会)

タイトル：『井筒俊彦全集』販売の取組みについて

概要：現在刊行中の『井筒俊彦全集』について、これまでに実施した販売施策(刊行直前に開催した企画説明会や多種多様なフェア・イベント等)を紹介し、第六巻(現在の最新刊)までの売上の推移からその効果を考察。

・参加者：24名

○人文社会科学5団体新年会打ち合わせ

日時：2014/8/28 14:00～16:30

場所：吉川弘文館

出席者：国語・国文学出版会(白石・馬場)／大学出版部協会(黒田)／歴史書懇話会(春

8 役員の改選及び各委員会構成について

ア)代表幹事選出

立候補者の有無を確認。立候補者なしのため、議長より田崎氏を推挙。全会員賛同にて田崎代表幹事留任を決定。

イ)選考委員選出

出席者による2名連記投票で票数の多い上位4名(同数のため5名)を選出。

新保・平石・橋元・片桐・水谷の5名が決定。

ウ)書記幹事、会計幹事および各委員会委員長を選出 【別室】

選出された選考委員4名と代表幹事の計6名にて別室で協議。以下の人事を決定。

書記(新保)／会計(平石)／販売・企画(片桐)／調査・研修(橋元)／広報(水谷)

エ)各委員会の構成メンバーの選任 【別室】

幹事・委員長以外の会員に希望所属委員会の記入用紙を配布し、各自希望を記入してもらう。

\*選出された幹事(代表幹事、書記、会計と3委員長)により各員の希望も考慮し、委員会の構成メンバーを選考。

以下の人事を決定。

9 2014年度の役員および各委員会メンバーの発表

代表幹事 田崎 洋幸

会計幹事 平石 修

書記幹事 新保 卓夫

販売・企画委員会 ◎片桐 幹夫 ○朝倉 哲也・三橋 直也・三上 無久・江波戸 茂・水口 大介・森 卓巳

調査・研修委員会 ◎橋元 博樹 ○片山 伸治・西野 浩文・小島 秀人・清田 康晃

広報委員会 ◎水谷 幹夫 ○乙子 智・岩野 忠昭・西 浩孝・川上 勝広

《◎委員長(幹事) ○副委員長》

10 三役と各委員長挨拶

11 退任者、新担当者挨拶

17:00 終了

総会幹事：水口(創元社)・小島(筑摩書房)

☆6月例会

日時：2014/6/18 14:00～16:00

場所：出版クラブ会館 2F会議室

1. 代表幹事・幹事会より
2. 各委員会活動方針
3. 特約店グループ訪問進行状況
4. 秋季研修旅行概要
5. その他

○特約店グループ訪問(◎班長)

## 2014年度(2014.5～2015.4)人文会活動報告(全般)

書記 新保卓夫(誠信書房)

### ○有隣堂書店訪問・研修会

2014/5/14 11:10～

A班 東京方面グループ

秋葉原店・アトレ恵比寿店・有隣堂ルミネ横浜店

B班 横浜方面グループ

有隣堂藤沢店・有隣堂戸塚モディ・有隣堂西口ザダイヤモンド店

16:00～ディスカッション

18:00～懇親会

### ☆第47回(2013年度)人文会年次総会

- ・期日：2014/05/23
- ・場所：出版クラブ会館
- ・出席者：正担当者20名 担当者変更1名 20社21名

14:30開始

総会の開催

- 1 代表幹事挨拶
- 2 総会議長選出  
\*総会議長は慣例に従い前年度の書記幹事(新保)が務める。
- 3 2013年度活動報告  
ア)会活動全般 (書記：新保)  
イ)会計報告 (会計：平石)
- 4 2013年度各委員会活動報告  
(ア)販売・企画委員会 (委員長：片桐)  
(イ)調査・研修委員会 (委員長：橋元)  
(ウ)広報委員会 (委員長：水谷)
- 5 会則の改廃 \*今回は変更の申請なし
- 6 休会・入会の承認・報告

#### ■休会：柏書房

代表幹事より：休会届が出され、受理した旨報告／議長より会則12項により、休会期間は2年間とする旨報告。

#### ■入会：青土社(入会審査の説明 会則9項により2/3以上の社の承認が必要)

①推薦版元による推薦の弁(白水社・吉川弘文館)

②19社(柏書房除く)にて議決。全会員社賛成にて入会が承認された。

- 7 担当者変更会員社の紹介 晶文社(奥村→川上)

## 二〇一四年度(第四八回)人文会年次総会報告

書記幹事 新保卓夫

二〇一四年度(第四八回)の人文会年次総会は、平成二十七年五月二十二日、「文化産業信用組合本部会議室」において全会員社出席のもとに開催されました。

議事は、二〇一四年度(二〇一四年五月一日～二〇一四年四月三〇日)の活動報告(全般)から始まり、会計報告、「販売・企画」「調査・研修」「広報」の各委員会報告および質疑、承認と続き、新年度に向けての役員改選及び各委員会所属メンバーを決定し、無事終了いたしました。

代表幹事には、昨年度に引き続き、全会一致で田崎洋幸氏(みすず書房)が選出されました。

会計幹事は平石修氏(御茶の水書房)、書記幹事は新保卓夫(誠信書房)が選出(いずれも留任)されました。委員会構成は昨年同様、「販売・企画」「調査・研修」「広報」の三委員会体制で会活動にあたることを確認しました。

各委員長(幹事)は、片桐幹夫氏(春秋社)が販売・企画委員長(留任)、橋元博樹氏(東京大学出版会)が調査・研修委員長(留任)、岩野忠昭氏(白水社)が広報委員長(新任)に選出されました。

会則の変更および、入会退会の社はありませんでした。

なお、担当者変更の社は以下の通りです。晶文社(川上→島田)／筑摩書房(小島→藤井)／日本評論社(江波戸→五月女)／ミネルヴァ書房(三上→須藤)。

委員会構成の詳細は、巻末の「人文会会員名簿」をご参照ください。

# 人文会会員名簿

〒113-0033 文京区本郷5-32-21 みすず書房内

2015年8月現在

社名	担当者	〒	住所	電話	FAX
大月書店	西浩孝	113-0033	文京区本郷2-11-9	3813-4651	3813-4656
御茶の水書房	平石修	113-0033	文京区本郷5-30-20	5684-0751	5684-0753
柏書房(休会中)		113-0033	文京区本郷2-15-13 お茶の水ウィングビル9F	3830-1891	3830-5337
紀伊國屋書店	三橋直也	153-8504	目黒区下目黒3-7-10	6910-0519	6420-1354
慶應義塾大学出版会	乙子智	108-8346	港区三田2-19-30	3451-6926	3451-3124
勁草書房	西野浩文	112-0005	文京区水道2-1-1	3814-6861	3814-6854
春秋社	片桐幹夫	101-0021	千代田区外神田2-18-6	3255-9611	3253-1384
晶文社	島田孝久	101-0051	千代田区神田神保町1-11	3518-4940	3518-4944
誠信書房	新保卓夫	112-0012	文京区大塚3-20-6	3946-5666	3945-8880
青土社	森卓巳	101-0064	千代田区猿楽町2-1-1 浅田ビル1F	3294-7829	3294-8035
創元社	水口大介	162-0825	新宿区神楽坂4-3 煉瓦塔ビル	3269-1051	5229-7139
筑摩書房	藤井若菜彦	111-8755	台東区藏前2-5-3	5687-2680	5687-2685
東京大学出版会	橋元博樹	153-0041	目黒区駒場4-5-29	6407-1069	6407-1991
日本評論社	五月女公	170-8474	豊島区南大塚3-12-4	3987-8621	3987-8590
白水社	岩野忠昭	101-0052	千代田区神田小川町3-24	3291-7811	3291-8448
平凡社	清田康晃	101-0051	千代田区神田神保町3-29	3230-6572	3230-6587
法政大学出版局	朝倉哲哉	102-0073	千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎1F	5214-5540	5214-5542
みすず書房	田崎洋幸	113-0033	文京区本郷5-32-21	3814-0131	3818-6435
ミネルヴァ書房	須藤圭	101-0052	千代田区神田小川町2-4-17 大宮第一ビル6F	3296-1615	3296-1620
未來社	水谷幹夫	112-0002	文京区小石川3-7-2	3814-5521	3814-8600
吉川弘文館	片山伸治	113-0033	文京区本郷7-2-8	3813-9151	3812-3544

代表幹事  
会計幹事  
書記幹事

田崎洋幸  
平石修  
新保卓夫  
◎委員長(幹事) ○副委員長

販売・企画委員会  
調査・研修委員会  
広報委員会

◎片桐幹夫 ○朝倉哲哉・三橋直也・水口大介・森卓巳・五月女公・須藤圭  
◎橋元博樹 ○片山伸治・西野浩文・清田康晃・藤井若菜彦  
◎岩野忠昭 ○乙子智・西浩孝・島田孝久・水谷幹夫

人文会ホームページ <http://www.jinbunkai.com/>

(各種情報/各社へのリンクはこちらからどうぞ)

## 人文会ウェブサイト、リニューアルのご案内



このたび人文会のウェブサイトのリニューアルいたしました。人文会の活動をこれまで以上に積極的にアピールしていくため、この機会にコンテンツを大幅に見直しました。フェアや人文会会員社の刊行物の書評掲載情報の他、各社おすすめの一冊を集めた注文書「今月の一押し」、タイムリーなテーマで選書した「人文会ベストセレクション」など、是非お役立てください。

URL <http://www.jinbunkai.com/>

## 目録のご案内

人文図書3分野の基本図書および最新刊を網羅した年度版の図書目録です。

●人文図書目録刊行会発行 A5判・平均245頁 頒価本体(各)286円



### ◆哲学・思想図書総目録2015-2016年版

約2,200点(134社)収載。

[掲載分野] 哲学・思想一般/倫理学・人生論/美学/各国哲学/現代哲学/宗教一般/宗教学 ほか

ISBN 978-4-915268-31-1



### ◆心理図書総目録2015-2016年版

約3,200点(116社)収載。

[掲載分野] 心理総論/基礎心理/発達心理/教育心理/臨床心理/精神分析/精神医学/社会心理 ほか

ISBN 978-4-915268-32-8



### ◆社会図書総目録2015-2016年版

約2,800点(138社)収載。

[掲載分野] 社会一般/家族社会/地域社会/産業労働/福祉教育/社会心理/社会問題/文化文明論/文化人類学 ほか

ISBN 978-4-915268-33-5

\*ご注文は書店にお願いいたします。

●人文会

〒113-0033 東京都文京区本郷5-32-21(みすず書房内)

●人文図書目録刊行会

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24(トーハンビル内)

TEL 03-3266-9521(事務局)



日常に侵入する自己啓発 生き方・手帳術片づけ  
牧野智和 本体2900円十税

自己啓発書は私たちの日常生活をどう変容させ、どのような生き方へ誘おうとするのか。社会学の観点から考える。

ディー・ブ・アクティブラーニング

大学授業を深化させるために  
松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター「編著」  
本体3000円十税

「教育から学習への転換」の鍵として注目のアクティブ・ラーニング。カリキュラム、授業、評価、学習環境を検討する。

歴史から理論を創造する方法

社会科学と歴史学を統合する  
保城広至 本体2000円十税

すぐれた研究をするための方法論とは？理論志向の社会科学者と、歴史的事実を重視する歴史家の溝とは？

# 日本の反知性主義

「街場の憂国会議」に続く  
緊急論考集第二弾！

内田樹編

赤坂真理 小田嶋隆 白井聡  
想田和弘 高橋源一郎 仲野徹  
名越康文 平川克美 鷲田清一

日本の言論状況、民主主義の危機を憂う、鋭敏の論客たちによるラディカルな分析。1600円税別



晶文社 〒101-0051 千代田区神田神保町1-1-1  
TEL.03-3518-4940  
<http://www.shobunsha.co.jp>

高石宏輔

あなたは、なぜ、  
つながれないのか

——ラポールと身体知

気鋭のカウンセラーが語る、瞬間で他者の内面とつながるための、驚愕のコミュニケーション技術。

1600円



発売から1ヶ月で  
たちまち5刷!!

春秋社 東京都千代田区外神田2-18-6  
TEL.03-3255-9611 (価格税別)  
<http://www.shunjusha.co.jp/>

## 新・臨床心理士になるために

[平成27年版]

(公財)日本臨床心理士資格認定協会 監修  
臨床心理士資格取得に関する総合ガイド。  
平成26年度試験問題(抜粋)に正答と解説を加え、臨床心理士にどのような専門性が求められているかを示す。 1200円

## 臨床心理士資格試験問題集 3

平成23年～平成25年  
(公財)日本臨床心理士資格認定協会 監修  
資格取得を目指す人の試験問題集第3弾。  
平成23年から25年までの出題の約4割を正答(解説付き)とともに公開。 1500円

## 野の医者は笑う

心の治療とは何か？  
東畑閑人著 若き臨床心理士が怪しいヒーラーの治療を受け、話を聞いて回る冒険譚。フィールドワークで心の治療を根底から問い直す話題作。舞台は沖縄！ 1900円

誠信書房 東京都文京区大塚3-20-6  
TEL.03-3946-5666 (税別)

## 思考の技法

D・C・テネット

数多くの哲学者や思想家が編み出してきた有益な道具と有害な道具を仕分けながら、もっともすぐれた思考ツール「直観ポンプ」へ導く。4100円

思想をかたちにする 上野千鶴子対談集

まだ見ぬ現実をひきよせようとする社会学者が、同世代から若い世代までと思想をたまたかわせた最新の成果、そしてその軌跡。2400円

セクシテリティをこぼにする 上野千鶴子対談集

ひんしゆくを買っことを怖れない社会学者が、分野を横断し日本の現実をあばく好奇心に満ちた対論。2200円

青土社 東京神田神保町 ☎03-3294-7829  
<http://www.seidosha.co.jp/> (価格税抜)

激動の20世紀、偉大な数学者・哲学者達は、いかにして真理の探究に駆り立てられたか？ 彼らの情熱を追う世界的ベストセラーのオールカラー・グラフィックノベル。

●本体2700円+税

# ロジ・コミックス

——ラッセルとめぐる論理哲学入門

ドクシアデイス／パバディミトリウ 画

ババダトス／デイ・ドンナ 画

松本剛史 訳 高村夏輝 監修

筑摩書房 サービスセンター 048-651-0053  
\*価格は定価(本体価格+税)  
<http://www.chikumashobo.co.jp/>

## 創元社

古代から現代まで3000年に亘る  
世界各地の海戦を描き尽くす!

# 海戦の歴史 大図鑑

ガレー船時代の地中海から大航海時代の太平洋、南北戦争のアメリカ、第二次世界大戦と戦後の紛争まで、海戦の歴史を写真。英国海軍が編集・史料提供に協力。世界の主だった海戦の戦術と原因・結果、その後の歴史への影響を地図・図表を使って詳細に述べた海戦史の決定版。

R・G・グラント 著

五百旗頭真、等松春夫 監修

山崎正浩 訳 307×258ミリ・上製・360頁  
定価(本体15,000円+税)

<本社>大阪市中央区淡路町4-3-6  
Tel.06-6231-9010 Fax.06-6233-3111  
<支店>東京都新宿区神楽坂4-3 Tel.03-3269-1051  
<http://www.sogensha.co.jp/>

## デジタル・ スタディーズ

■内容見本呈

[全3巻]

石田英敬、吉見俊哉、マイク・フェザーストン 編

メディアと人文的知が切り結び、立ち現れる知のデジタル転回を、国内外の第一線の研究者が展望する。

[既刊] ①メディア哲学 3800円  
[続刊] ②メディア表象 4800円  
③メディア都市 4800円

## 社会調査の 考え方

〈上・下〉

佐藤郁哉

良い研究のための、「筋の良い」調査のコツを、目からウロコの解説と豊富な研究例でわかりやすく説き明かす。各3200円

## 東京大学出版会

〒153-0041 東京都目黒区駒場4-5-29  
TEL 03-6407-1069 FAX 03-6407-1991  
<http://www.utp.or.jp/> <価格税別>

「テロとの戦い」を標榜する  
 西洋の欺瞞を暴く――  
**チヨムスキーが語る  
 戦争のからくり**  
 ヒロシマからドローン兵器の時代まで  
 ノーム・チヨムスキー／アンドレ・ヴルチェク 著  
 本橋哲也 訳

定価:本体1,700円(税別)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29  
 Tel:03-3230-6574  
 Fax:03-3230-6588  
<http://www.heibonsha.co.jp/> 平凡社

子どもの  
**感情コントロールと心理臨床**  
 大河原美以  
 怒り・不安・恐怖に支配される子どもたち。きれる、かん  
 しゃく、暴力、いじめ、不登校、リストカット……子ども  
 の心の問題はどのように生じるのか。 本体2,600円  
**増補 母性愛神話の罭 大日向雅美**  
 原著刊行から15年。子ども子育て支援新制度スタート  
 の年に、燃り続ける母性愛神話、三歳児神話の「いまを  
 増補し、装いも新たに再刊。 本体1,700円

 日本評論社

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4  
 TEL:03-3987-8621 <http://www.nippony.co.jp/>

sapientia  
 サビエンティア 39

H・クレイシ 著／武田将明 訳  
**言葉と爆弾**  
 移民の子供たちがイスラム原理主義に傾倒する  
 背景を、痛ましいほどの皮膚感覚で受け止める。  
 四六判・上製◆230頁◆本体2,800円＋税

法政大学出版局

東京都千代田区九段北3-2-3 ※価格は税別  
 ☎03(5214)5540 <http://www.h-up.com/>

sapientia  
 サビエンティア 40

C・ヨブケ 著／伊藤豊、長谷川一年、竹島博之 訳  
**ヴェール論争**  
 英独仏の移民政策や現在の課題を示し、アイデ  
 ンティティを映す鏡としてヴェールを考察する。  
 四六判・上製◆280頁◆本体3,000円＋税

リベラリズ  
 ムの試練

**マルクス**

ある十九世紀人の生涯(上・下)

ジョナサン・スパーバー

佐藤優氏推薦! 思想、政治、私  
 生活を「19世紀」という時代の文  
 脈に連関させながら、その全体像  
 を厳正に描く。小原淳訳

各巻●本体価格2800円＋税

**第二次世界大戦  
 1939-45** (上・中・下)

アントニー・ビーヴァー

半藤一利氏推薦! 英国の泰斗に  
 による決定版通史。平賀秀明訳

各巻●本体価格3300円＋税

白水社

東京都千代田区神田小川町3-24  
 tel.03-3291-7811 / fax.03-3291-8448

<http://www.hakusuisha.co.jp/>

## 最後の詩集

長田弘 全詩集以降、最晩年の十五篇のみならずから編んだ小さな青い本。新緑の候に逝った詩人が贈るラストアルバム。(一八〇〇円)

## 失われてゆく、我々の内なる細菌

ブレイザー 食物アレルギー、肥満、自閉症、喘息と腸管細菌の関係とは？ 医療を牽引する先端研究 山本太郎訳 三〇〇円

## トレブリンカ叛乱 死の収容所で起った1942-43

ヴェレンベルク 七十万以上のユダヤ人が殺害された絶滅収容所の実態をはじめ描いた鮮烈な報告。近藤康子訳 三〇〇円

## イングランド炭鉱町の画家たち

フイーヴァー 一九三四年に誕生した素人画家集団アシントン・グループの足跡と作品を本邦初紹介。乾由紀子訳 五〇〇円

みすず書房 (税別)

東京都本郷5-32-21 <http://www.msz.co.jp>

## 赦すこと 赦し得ぬものと 時節にかり得ぬもの

ジャック・デリダ著／守中高明訳

デリダの晩年の問題系のひとつでもあった「赦し」の可能性=不可能性のアポリアを緻密に展開した論考。 1800円

[新訳・評注]

## 歴史の概念について

ヴァルター・ベンヤミン著／鹿島徹訳・評注

ベンヤミン個人の人生とヨーロッパの情勢と、ふたつの危機の度合いが深まっていくなかで構想された未完の遺稿「歴史の概念について(歴史哲学テーゼ)」。1981年にアガンベンが入手したタイプ原稿を底本にすえ、新訳を作成する。 2600円

## 大地の哲学 アイヌ民族の精神文化に学ぶ

小坂洋右著

苛酷な抑圧と差別、同化政策によって発信力を奪われてきたアイヌ民族。だが、その精神文化、世界観には、現代を生きる日本人が失い、道を誤る原因のひとつとなった「自然への畏れ」が息づいている。 2200円



未来社

〒112-0002 東京都文京区小石川3-7-2

TEL03-3814-5521 FAX03-38145596

<http://www.miraisha.co.jp/> ※表示は税別

東北のルーツを見つめ直し、新たな“北”の歴史像を描く二大シリーズ!

【企画編集委員】熊谷公男・柳原敏昭

## 東北の古代史 全5巻

刊行開始 7月より隔月ごとに配本 各2400円

①北の原始時代 阿子島 香編  
独自の発展を遂げた東北文化の夜明けを描き出す。

## 東北の中世史 全5巻

刊行開始 6月より隔月ごとに配本 各2400円

①平泉の光芒 柳原敏昭編  
中世東北の扉を開けた平泉藤原氏の実像に迫る!

吉川弘文館 東京都文京区本郷7-2  
TEL03-3813-9151 / 税別

近代日本社会を金縛りにした「国体論」とは何か

## 国体論はなぜ生まれたか

米原 謙著 ● 明治国家の知の地形図 幕末以降の思想形成と、その変容の跡をたどる。 3200円

戦後70年、日本はアジアとどう向き合ったか

## 戦後日本のアジア外交

宮城大蔵編著 近年に至るまでの日本のアジアに対する関与の軌跡を多面的に解明する本格的な通史。 3000円

ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1  
TEL075-581-0296 価格税別 / 宅配可

2015年8月31日発行 年3回発行 第121号

発行所 人文会 みすず書房内

〒113-0033 東京都文京区本郷5-32-21

編集協力 アジール・プロダクション

印刷 中央精版印刷株式会社

<非売品>